

# 根室市総合体育会館基本構想（案）

令和6年 月  
根室市 教育委員会

# 根室市総合体育会館 基本構想

## 目 次

### 第1章 基本構想策定の背景と目的

1-1. 基本構想策定の背景	1
1-2. 関係上位計画	2
1-3. 基本構想策定の目的	4

### 第2章 前提条件の整理

2-1. 根室市青少年センターにおける現況把握と課題整理	5
2-1-1. 根室市青少年センターにおける現況把握	5
2-1-2. 根室市青少年センター 利用者数	6
2-1-3. 根室市青少年センター 利用実績	7
2-1-4. 根室市青少年センターにおける課題整理	9
2-2. 根室市武徳殿における現況把握と課題整理	11
2-2-1. 根室市武徳殿における現況把握	11
2-2-2. 根室市武徳殿 利用者数	12
2-2-3. 根室市武徳殿 利用実績	12
2-2-4. 根室市武徳殿における課題整理	12
2-3. 根室市温水プールにおける現況把握と課題整理	14
2-3-1. 根室市温水プールにおける現況把握	14
2-3-2. 根室市温水プール 利用者数	16
2-3-3. 根室市温水プール 利用実績	16
2-3-4. 根室市温水プールにおける課題整理	17
2-4. 根室市屋内相撲場における現況把握と課題整理	19
2-4-1. 根室市屋内相撲場における現況把握	19
2-4-2. 根室市屋内相撲場 利用者数	20
2-4-3. 根室市屋内相撲場 利用実績	20
2-4-4. 根室市屋内相撲場における課題整理	20
2-5. 根室市の屋内体育施設に対するニーズ	21
2-5-1. 市民・利用者・競技団体を対象とした意向調査の実施結果	21
2-6. 根室市の屋内体育施設における課題整理	24

### 第3章 目指すべき新総合体育会館の姿（基本理念・基本方針・整備方針）

3-1. 基本理念	25
3-2. 基本方針	25
3-3. 整備方針（主要事項における検討結果の明示化）	26
3-4. 目指すべき新総合体育会館の姿	26

## 第4章 新総合体育会館の建設に関する諸条件の整理

4-1. 建設候補地の比較検討と建設地の選定	27
4-1-1. 建設候補地の比較検討	27
4-1-2. 建設候補地における個別評価	28
4-1-3. 建設候補地における総合評価	31
4-1-4. 建設地の選定	33
4-2. 部門別の館内構成・競技環境の確保・諸室機能の整理	34
4-2-1. 部門別の館内構成	34
4-2-2. 競技環境の確保	34
4-2-3. 諸室機能の整理	42

## 第5章 事業手法の概要と比較

5-1. 事業手法の概要	49
5-2. 事業手法の比較	50

## 第6章 今後の事業スケジュールと策定作業に関するイメージ

6-1. 今後の事業スケジュール	51
6-2. 今後の策定作業に関するイメージ	52

# 第1章 基本構想策定の背景と目的

## 1-1. 基本構想策定の背景

国は、スポーツ基本計画（令和4年3月策定 / 第3次計画）において、『我が国では、働き方や生活の仕方の変化に加え、「人生100年時代」と言われる中、既存のライフステージ・ライフコースにとらわれないライフスタイルの変化が生じている』としています。また、こうした社会変化に対応した視点の一つとして、『性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人がスポーツにアクセスできるような社会の実現・気運の醸成を目指すことが必要』としています。

一方、根室市においては、総合計画（平成27年7月策定 / 第9期計画）の中で「誰もが日常生活の中で、スポーツ活動に親しむことのできるまち」を政策目標に据えており、更に、その中で「スポーツ環境の整備」を掲げているなど、誰もが気軽に楽しく活動できるスポーツ環境の整備・充実を図るとしております。

こうした中、根室市には青少年センター・武徳殿・温水プール・相撲場の4つ屋内体育施設がありますが、それぞれの施設が市内各所に分散していることや手狭で老朽化が著しいことで、多様化する利用者ニーズに応えることが難しく、とりわけ、築50年を超える青少年センターと武徳殿は、現在の耐震基準を満たしておらず、安全・安心なスポーツ活動を担保する上でも、早急な対応が求められております。

表 1-1 根室市の屋内体育施設における築年数

耐震基準 <sup>※1</sup>	施設名	竣工年	築年数
旧耐震基準	根室市青少年センター	昭和45年(1970年)	53年
	根室市武徳殿	昭和36年(1961年)	62年
新耐震基準	根室市温水プール	昭和63年(1988年)	35年
	相撲場(根室市青少年センター敷地内)	平成19年(2007年)	16年

※1：耐震基準

建築基準法における耐震性能を定める基準において、昭和56(1981)年5月31日まで適用されていた基準を「旧耐震基準」、翌日の昭和56(1981)年6月1日から適用されている基準を「新耐震基準」と呼称される。「新耐震基準」では震度6強、7程度の地震でも倒壊しない水準が定められている。

## 1-2. 関係上位計画

基本構想の策定では、国・北海道・根室市が策定する上位計画との整合性や位置付け等が重要となることから、これらを踏まえながら検討を行います。

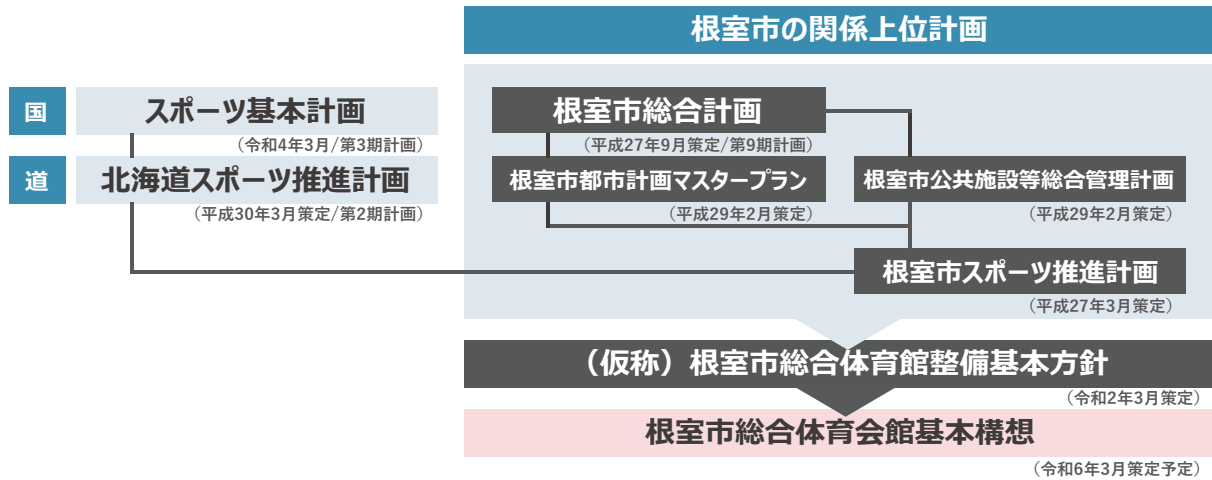


図 1-1 関係上位計画の体系図

### (1) 根室市総合計画（平成 27 年 9 月策定 / 第 9 期計画）

総合計画とはまちづくりの目標や、その実現に向けた基本的な方向を示す市政の指針となるもので、本計画では「誰もが日常生活の中でスポーツ活動に親しむことができるまち」を政策目標に掲げています。

政策目標 3 個性を伸ばし豊かな心と感性を育むまち 3-8 スポーツ活動の推進	
生涯スポーツの推進	世代を越え、多様なスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、各種団体への支援・育成を図り、市民の誰もが気軽にスポーツ活動を楽しめる機会の充実を図ります。
スポーツ環境の整備	スポーツを取り巻く社会環境や市民ニーズの変化に対応するため、総合体育館の建設についての検討を進めるとともに、誰もが気軽に楽しく活動することができるスポーツ環境の整備・充実を図ります。
競技スポーツの推進と指導者の養成	引き続き競技スポーツの支援を行うとともに、指導者の養成に努め、指導者の能力や技術を活かすことができる場の提供に努めます。

### (2) 根室市都市計画マスタープラン（平成 29 年 2 月策定）

根室市都市計画マスタープランとは、中長期的な視点に立った都市の将来像を明確にするために策定されるもので、都市施設の方針を示しています。

第 5 章 全体構想 - 都市施設の方針 -	
⑤. 都市施設の具体的な取り組み方針	<p>■都市計画公園</p> <p>6・5・1根室総合運動公園にあっては、住民アンケート調査結果などにおいても住民意見の多い施設の集約化に意を置くとともに、取り組みが始動した新体育館建設構想との兼ね合いも含め、休止中の第二期計画のあり方についての検討に取り組みます。</p>

### (3) 根室市公共施設等総合管理計画（平成 27 年 12 月策定）

本計画は公共施設等のあり方について、将来を見据えた新しい時代のニーズに対応する、より最適な公共施設等の配置に向けた基本的な考え方や方針を定めたもので、今後の取り組み方針を示しています。

10. 今後の取り組み方針	
□施設全般にかかる基本的な方針	◎新規の施設整備にあたっては、単独での新規設置は行わず、施設の複合化、集約化、廃止、統合を基本とし、施設更新に伴う建て替えにあっても、現有面積を基本とします。

### (4) 根室市スポーツ推進計画（平成 27 年 3 月策定）

本計画はスポーツ・健康都市宣言のさらなる推進を目的として、将来のスポーツのあり方を描き、実現のための目標及び方針を定めるもので、具体的な施策を示しています。

第 4 章 推進計画の具体的な施策	
4 スポーツ施設の整備	屋内スポーツの活動拠点である青少年センターは、築 44 年を経過しており、日常的な利用状況から見ても施設が狭隘で、市民の多種多様なニーズに応えることが難しい状況にあることから、総合体育館建設の検討を進めます。

### (5) (仮称) 根室市総合体育館整備基本方針（令和 2 年 3 月策定）

前身組織となる「根室市総合体育館整備市民委員会」での議論や、「市民・利用者・競技団体の意向調査」の結果を踏まえた「(仮称)根室市総合体育館整備基本方針」では、7つの基本コンセプトを示しています。

整備基本方針【7つの基本コンセプト】
①スポーツの生活化を推進する施設 ②「市民一人1スポーツ」を推進する施設 ③競技スポーツの振興を推進する施設 ④誰もが安心して快適に利用できる施設 ⑤世代を超えスポーツ交流の核となる施設 ⑥多目的に利用できる施設 ⑦市民負担やランニングコストの軽減に配慮した施設

### 1-3. 基本構想策定の目的

これまで述べたとおり、根室市青少年センターなど根室市の屋内体育施設の半数が築50年を超える経年劣化で老朽化が著しいことをはじめ、今後、耐用年数が課題となる築30年前後の温水プールや相撲場の在り方も含め、抜本的な対策が急務となっている一方、全道大会基準による公認施設としての機能や、新たなスポーツジャンルへの対応など、多様化する利用者ニーズを的確に捉えた施設づくりが求められております。

このため、前身となる総合体育館整備市民委員会での議論や市民意向調査の結果、更には根室市総合体育館整備基本方針など、これまでの流れを踏まえながら、スタートアッププランとなる基本構想を策定することによって、新総合体育会館の建設に向けた歩みを着実に進めるとともに、屋内競技団体やスポーツ愛好家のみならず、誰もが気軽に集える機能豊かな市民全体の施設となるよう、整備すべき施設規模・施設機能・施設構成・建設地・建設費等の主要事項を大きな柱として、目指すべき新総合体育会館の姿について、取りまとめることを目的とします。

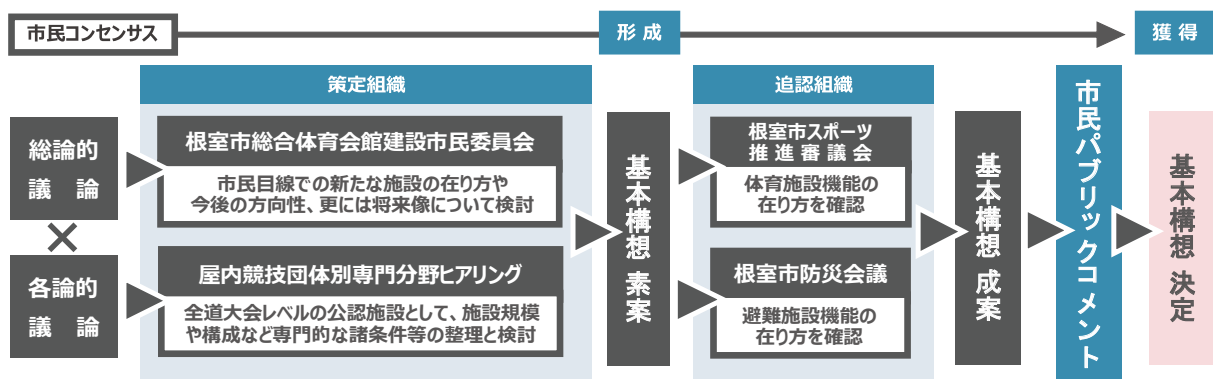


図 1-2 基本構想策定における作業フロー

## 第2章 前提条件の整理

### 2-1. 根室市青少年センターにおける現況把握と課題整理

#### 2-1-1. 根室市青少年センターにおける現況把握

根室市青少年センターは、昭和45年12月に青少年施設（講堂兼体育館）としての目的で建設されており、現在でも正式な体育施設では無いことに加えて、それ故の手狭さや経年劣化による老朽化など多くの課題があります。

表 2-1 根室市青少年センター 施設概要

所在地	根室市牧の内 146 番地 16	
設置年月日	昭和 45 年 12 月 20 日	
構造	鉄骨および鉄筋コンクリート造 地上 2 階建て	
敷地面積	8,390.60 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,963.10 m <sup>2</sup>	
収容人数	2,975 名	
主な施設	体育館	1,112.40 m <sup>2</sup> （バスケットボール・バレーボール 1 面、バドミントン 6 面、テニス 1 面、卓球 8 台）、観覧席：約 370 席（50cm/人）
	研修室	116.07 m <sup>2</sup> （第一研修室 113.29 m <sup>2</sup> 、第二研修室 116.07 m <sup>2</sup> ）
	相談室	44.09 m <sup>2</sup>
	その他	1,690.54 m <sup>2</sup> （トレーニング機械室 116.07 m <sup>2</sup> ）
駐車場	5,427.5 m <sup>2</sup> （普通車 140 台、大型 22 台）	
利用時間	【平日・土曜日】午前 9 時～午後 9 時【日曜日・祝日】午前 9 時～午後 5 時	
休館日	毎週月曜日（祝祭日の翌日）、12 月 29 日～1 月 3 日	



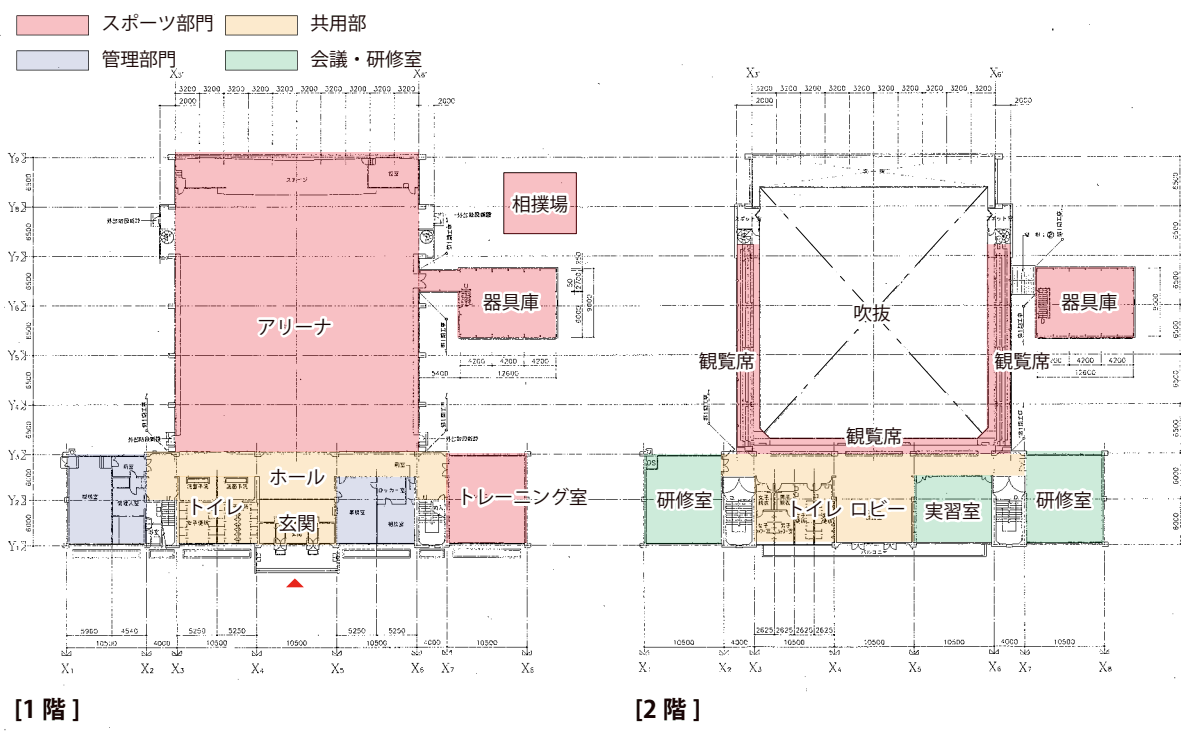


図 2-1 根室市青少年センター 平面図



写真 2-1 根室市青少年センター 外観

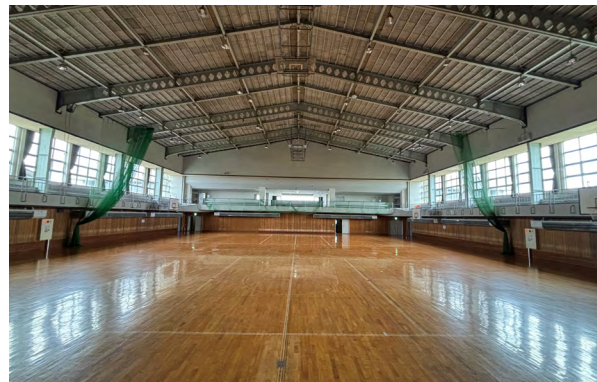


写真 2-2 根室市青少年センター 内観

**2-1-2. 根室市青少年センター 利用者数**

令和 2 年 1 月に新型コロナウイルス (COVID-19) の感染者が国内で初めて確認されてい以来、社会全体が感染対策としての活動自粛を強いられたこともあり、コロナ流行期においては、流行前の令和元年度と比べ、利用者が 70% 台にまで減少していましたが、その後の感染症法上の第 5 類移行もあり、制限緩和による屋内競技大会の再開など、直近の利用状況では徐々に回復傾向にあります。

表 2-2 根室市青少年センター 利用者数 (平成 30 年度～令和 5 年度)

根室市青少年センター		H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
体育館 ・ 研修室	年間利用者数	41,204	33,768	25,754	22,458	25,730	
	年間開館日数	293	283	249	210	295	
トレーニング室	年間利用者数	835	1,075	720	493	792	
	年間開館日数	293	283	249	210	295	

コロナ影響期間

### 2-1-3. 根室市青少年センター 利用実績

根室市内や根室管内での大会の開催が中心であるほか、根釧地区大会も一定程度見られるなど、年間で約 50 回程度、1 回あたりの平均来場者数は約 140 人となっています。

表 2-3 根室市青少年センター 各種大会開催実績（平成 30 年度）

No.	大会名	種目	開催日	来場者数
1	第 29 回ナオエ杯・プロパンガス杯フットサル大会	フットサル	4 月 15 日	195 人
2	第 18 回北海道小学生 ABC バドミントン大会釧根地区予選会	バドミントン	4 月 28 日	126 人
3	平成 30 年度根室地区春季バドミントン大会	バドミントン	5 月 12 日	247 人
4	平成 30 年度第 12 回春季ミニテニス大会	ミニテニス	5 月 13 日	78 人
5	平成 30 年度根室管内バレーボール大会中学生選手権春季大会	バレーボール	5 月 19 日	381 人
6	第 39 回会長杯ジュニアバドミントン大会	バドミントン	5 月 20 日	220 人
7	平成 30 年度国民体育大会根室管内予選会兼第 11 回根室花咲オープン卓球選手権大会	卓球	6 月 3 日	195 人
8	あおぞら杯ミニバスケットボール大会	バスケットボール	6 月 9 日	229 人
9	第 9 回あおぞら杯根室管内中学校バスケットボール交歓大会	バスケットボール	6 月 10 日	365 人
10	第 105 回市長杯争奪バレーボール大会（高校・一般）	バレーボール	6 月 17 日	109 人
11	平成 30 年度根室地区中学校体育大会バドミントン大会	バドミントン	6 月 30 日 ～ 7 月 1 日	290 人
12	第 13 回根室ミニテニス選手権大会	ミニテニス	7 月 15 日	45 人
13	第 31 回市長杯バドミントン大会	バドミントン	7 月 22 日	202 人
14	第 7 回極真杯極真空手道交流大会	空手	8 月 26 日	182 人
15	第 15 回市長杯争奪ミニテニス大会	ミニテニス	8 月 30 日	40 人
16	第 28 回市長杯争奪卓球大会	卓球	9 月 4 日	21 人
17	第 11 回大地みらい信用金庫杯オープン卓球大会	卓球	9 月 23 日	200 人
18	第 51 回根室市総合体育祭剣道大会兼第 23 回石田杯剣道大会	剣道	9 月 29 日	33 人
19	第 51 回根室市総合体育祭ソフトバレーボール大会兼第 18 回根室ローターアクト杯ソフトバレーボール大会	ソフトバレーボール	9 月 30 日	149 人
20	平成 30 年度全日本バレーボール高等学校選手権大会根室地区予選会	バレーボール	10 月 13 日	285 人
21	第 51 回根室市総合体育祭バドミントン大会	バドミントン	10 月 14 日	224 人
22	第 51 回根室市総合体育祭卓球大会	卓球	10 月 21 日	110 人
23	第 6 回ダブルス選手権オープン	卓球	10 月 28 日	80 人
24	第 30 回全道ユース (U-15) フットサル選手権大会根室地区予選	フットサル	11 月 3 日	158 人
25	第 26 回市民ソフトバレーボール大会	ソフトバレーボール	11 月 4 日	100 人
26	第 14 回はまなすカップ小学生バレーボール大会	バレーボール	11 月 10 日	296 人

No.	大会名	種目	開催日	来場者数
27	第51回根室市総合体育祭バスケットボール大会	バスケットボール	11月11日	91人
28	第39回根室市少年少女バドミントン大会	バドミントン	11月17日	150人
29	第13回会長杯根室市卓球卓球選手権大会	卓球	11月18日	89人
30	JFAファミリーフットサルフェスティバル2018北海道inねむろ	フットサル	11月25日	101人
31	根室振興局ミニバレーボール大会	ミニバレーボール	11月28日	69人
32	第43回根室市小学生少女バレーボール大会	バレーボール	12月2日	92人
33	第26回根室リーグ卓球団体オープン大会	卓球	12月9日	110人
34	第36回中学校インドアソフトテニス大会	ソフトテニス	12月15日	60人
35	第106回市長杯争奪争奪バレーボール大会(高校・一般)	バレーボール	12月16日	81人
36	フレンドシップフットサル大会2018	フットサル	12月22日 ～ 12月23日	120人
37	第45回根室管内総合選手権バドミントン大会	バドミントン	12月24日	225人
38	第44回根室管内ヨネックス杯バドミントン大会	バドミントン	1月6日	100人
39	全道フットサル選手権2019(U-12)根室地区予選	フットサル	1月12日	200人
40	第45回根室市フットサル大会小学生の部U-8	フットサル	2月2日	63人
41	第12回根室市フットサルチャンピオンズリーグ	フットサル	2月3日	90人
42	第45回根室市フットサル大会小学生の部U-12	フットサル	2月9日	91人
43	第21回会長杯ミニテニス大会	ミニテニス	2月11日	44人
44	第45回根室市フットサル大会小学生の部U-10	フットサル	2月16日	80人
45	第4回根室市長杯卓球選手権	卓球	2月17日	83人
46	第26回根室市小学生新人戦バレーボール大会	バレーボール	2月23日	102人
47	第27回坂巻杯ミックス選手権大会(バドミントン)	バドミントン	2月24日	90人
4B	第30回根室市子ども会バドミントン大会	バドミントン	3月2日	81人
49	第53回根室市子ども会卓球大会	卓球	3月3日	99人
50	第45回根室市フットサル大会中学・高校・一般の部(ミドル・混合クラス)	フットサル	3月10日	117人
51	第45回根室市フットサル大会(トップクラス)	フットサル	3月17日	75人

## 2-1-4. 根室市青少年センターにおける課題整理

### (1) 内外部の劣化状況

経年劣化の進行で外部の各所にひび割れ等が発生している一方、内部では雨漏りによる天井の劣化やカビの発生が見られます。



写真 2-3 外壁の劣化状況



写真 2-4 雨漏りによる天井の劣化状況

### (2) 耐震性能の不足

昭和 45 年（1970 年）の建設で、現在の耐震基準を満たさないため、耐震性や安全性が大きな課題となっています。



写真 2-5 耐震補強未実施の施設



写真 2-6 躯体のひび割れ

### (3) 公認施設機能の未対応

公認施設に適合していないため、全道レベル等の大会が開催できない状況にあるほか、観覧席も利用者にとって負担の大きい板張りベンチであり、その座席数も少ないことから、施設面での大幅な環境改善が必要となっています。



写真 2-7 公認施設に適合しないアリーナ

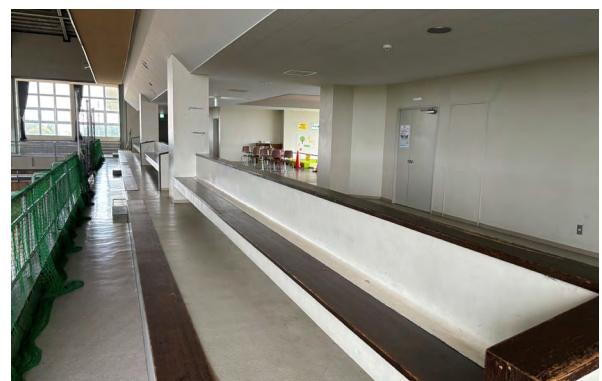


写真 2-8 座席数の少ない観覧席

#### (4) バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の未対応

既存の多目的トイレのオストメイト対応化が必要である一方、授乳室やエレベータが未設置で階段のみの施設であるほか、手すりやスロープ等も不足しているなど、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化が求められています。



写真 2-9 オストメイト未対応の多目的トイレ



写真 2-10 エレベータの未設置（階段のみ）

#### (5) アクセス面での不便

主たる接続道路が道道 35 号線と一方向でのアクセスに限られていることに加えて、冬場の暴風雪による交通遮断や除雪面での脆弱性が大きな課題となっております。

また、直接乗り入れる公共交通機関も無く、中心市街地から遠く離れていることから、自家用車等での交通アクセスに頼らざるを得ず、誰も気軽に集える施設とは言い難い状況となっております。



写真 2-11 一方向でのアクセス道路



図 2-12 道幅の狭い道路

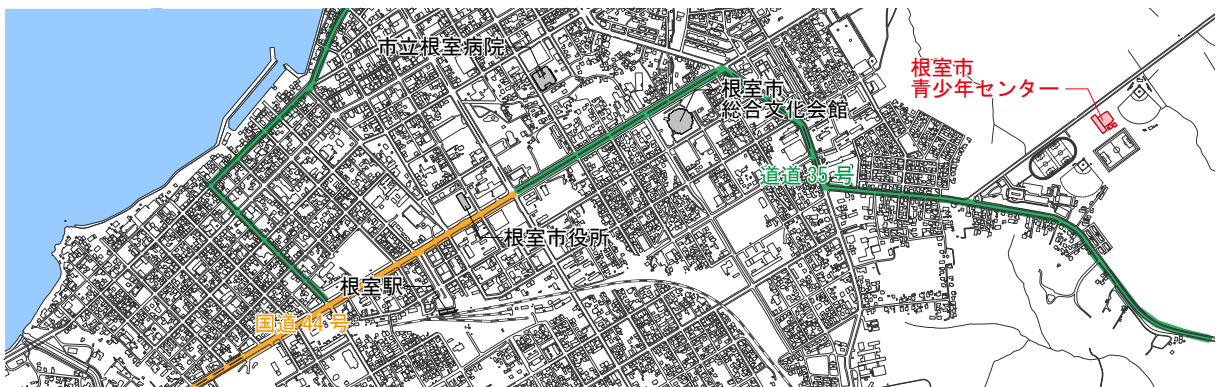


図 2-2 根室市青少年センター 位置図

## 2-2. 根室市武徳殿における現況把握と課題整理

### 2-2-1. 根室市武徳殿における現況把握

根室市武徳殿は、昭和 36 年 7 月に市内唯一の武道場として開設され、柔道や剣道などの活動を長年にわたり支えてきましたが、一般住宅等に用いられる木造構造である故の手狭さや傷みの速さなど、青少年センター同様、経年劣化による老朽化が課題となっています。

表 2-4 根室市武徳殿 施設概要

所在地	根室市弥生町 2 丁目 5 番地	
設置年月日	昭和 36 年 7 月 11 日	
構造	木造 平屋建	
敷地面積	6,862.00 m <sup>2</sup>	
延床面積	311.85 m <sup>2</sup>	
面積	柔道、剣道場	311.85 m <sup>2</sup>
駐車場	約 30 台	
利用時間	午前 9 時～午後 9 時	

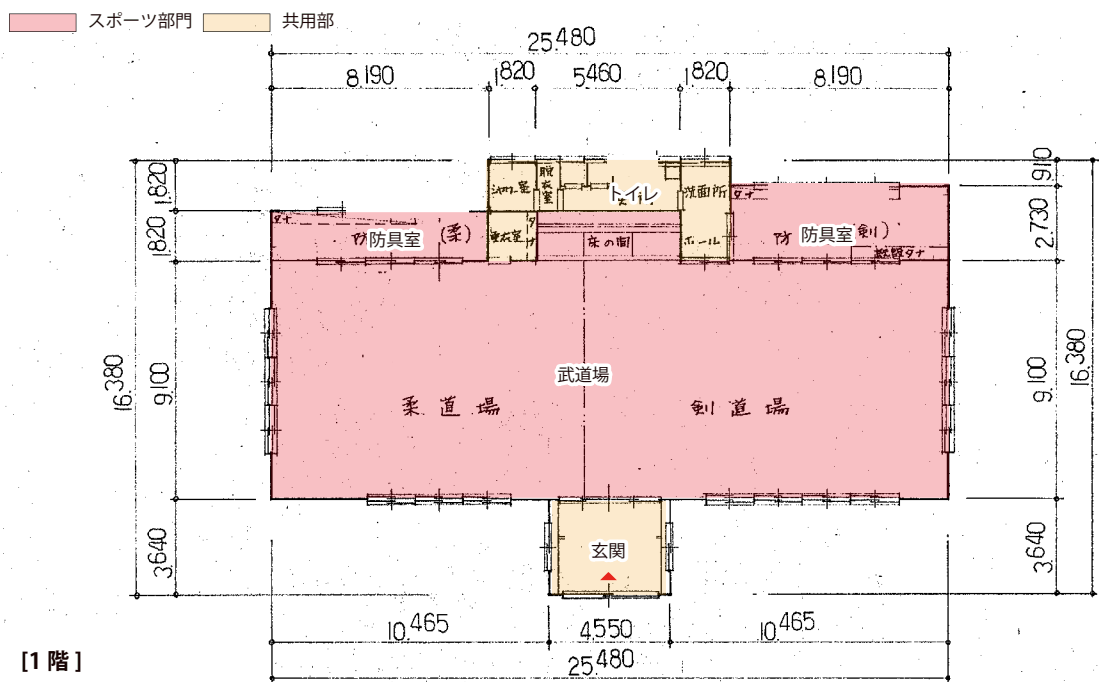


図 2-3 根室市武徳殿 平面図



写真 2-13 根室市武徳殿 外観



写真 2-14 根室市武徳殿 内観

## 2-2-2. 根室市武徳殿 利用者数

コロナ流行前となる平成30年度と令和元年度との比較では、利用者数の減少が見られますが、青少年センターなどに比べ、減少幅が少なく推移しています。

表 2-5 根室市武徳殿 利用者数（平成30年度～令和5年度）

根室市武徳殿		H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
武道場	年間利用者数	5,035	4,746	4,125	3,556	3,747	
	年間開館日数	365	365	309	277	365	

コロナ影響期間

## 2-2-3. 根室市武徳殿 利用実績

毎年度開催される根室市総合体育祭を除き、近年では公式大会での開催実績は無く、昇段試験での活用に止まっています。

## 2-2-4. 根室市武徳殿における課題整理

### (1) 内外部の劣化状況

木造構造である故の傷みが酷く補修の跡が目立つことに加えて、窓枠の歪みで窓の開閉が難しい箇所が多く見られます。



写真 2-15 補修跡が目立つ外壁



写真 2-16 劣化により歪んだ窓枠

### (2) 施設の狭隘化

柔道と剣道の双方とも、公式試合に必要な広さが確保されていないとともに、物品庫や更衣室が狭く大変不便な状態となっています。



写真 2-17 十分な広さの無い格技場

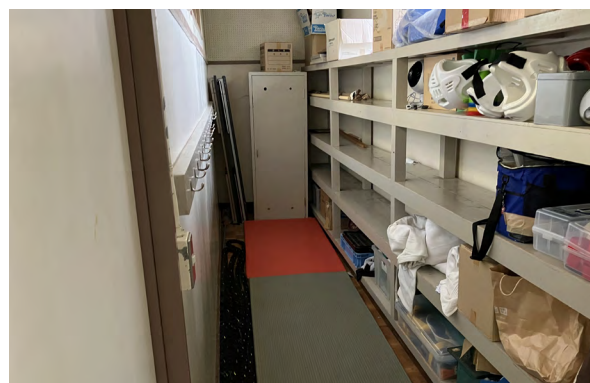


写真 2-18 狭い物品庫

### (3) バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の未対応

トイレは男女の区別がされていないほか、多目的トイレや授乳室、更には、手すりやスロープ等も未設置であるなど、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化が求められています。



写真 2-19 男女共用のトイレ



写真 2-20 手すりの無いトイレ室内

### (4) 駐車場の整備不足

駐車場が未舗装で雨天時に悪路状態となるなど、身体の不自由な方や車椅子の方の利用が大変不便な状況となっています。



写真 2-21 未舗装の駐車場



写真 2-22 区画も無く駐車エリアが不明確



## 2-3. 根室市温水プールにおける現況把握と課題整理

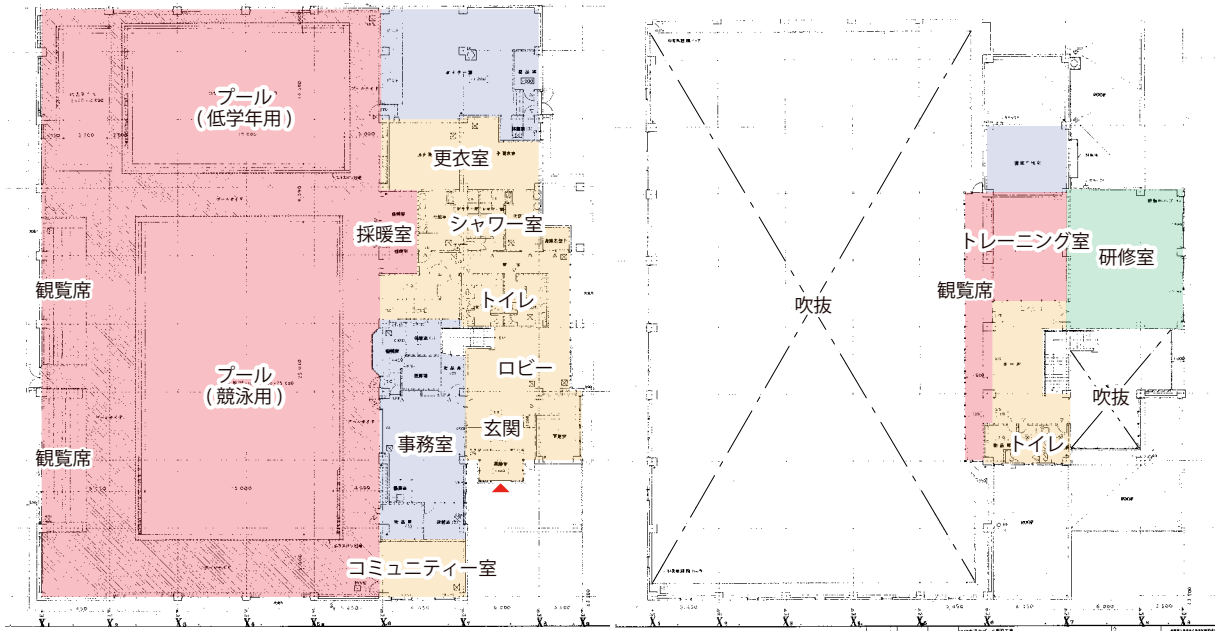
### 2-3-1. 根室市温水プールにおける現況把握

根室市温水プールは、昭和 63 年 4 月に開設し現在の耐震基準が満たされた施設ではありますが、水質維持の塩素系薬剤を日々使用する環境から、耐用年数が約 40 年程度と比較的短く、築 35 年を迎える施設として課題となっています。

表 2-6 根室市温水プール 施設概要

所在地	根室市曙町 2 丁目 29 番地	
設置年月日	昭和 63 年 4 月 1 日	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 2 階建て	
敷地面積	3,297 m <sup>2</sup>	
延床面積	2,228.68 m <sup>2</sup>	
主な施設	1 階	1,877.73 m <sup>2</sup> (日本水泳連盟公認 7 コース 25m × 15m、低学年用 17m × 10.5m、幼児用 10.5m × 3.5m、) 観客席：約 180 席 (50cm/人)
	2 階	350.95 m <sup>2</sup> (トレーニング室 53.72 m <sup>2</sup> 、研修室 105.09 m <sup>2</sup> ) 観客席：約 30 席 (50cm/人)
駐車場	4,277 m <sup>2</sup> (約 120 台)	
利用時間	【夏期間 (5 月 1 日～11 月 30 日)】 火曜日～土曜日：午前 9 時 30 分～午後 8 時 30 分 日曜日・祝日：午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 【冬期間 (12 月 1 日～4 月 30 日)】 火曜日～土曜日：午後 1 時 30 分～午後 8 時 30 分 日曜日・祝日：午前 9 時 30 分～午後 8 時 30 分	
休館日	月曜日、12 月 29 日～12 月 31 日、1 月 1 日～3 日	

スポーツ部門   
  共用部  
 管理部門   
  会議・研修室



[1階]

[2階]

図 2-4 根室市温水プール 平面図



写真 2-23 根室市温水プール 外観



写真 2-24 根室市温水プール 内観

## 2-3-2. 根室市温水プール 利用者数

令和2年1月に新型コロナウイルス（COVID-19）の感染者が国内で初めて確認されてい以来、社会全体が感染対策としての活動自粛を強いられたこともあり、コロナ流行期においては、流行前の平成31年度と比べ、利用者が40%台まで大幅に減少しておりますが、その後の感染症法上の第5類移行もあり、制限緩和による屋内競技大会の再開など、直近の利用状況では徐々に回復傾向にあります。

表 2-7 根室市温水プール 利用者数（平成30年度～令和5年度）

根室市温水プール		H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
プール室	年間利用者数	25,746	25,254	14,919	10,400	11,757	
	年間開館日数	295	282	264	266	292	
トレーニング室	年間利用者数	2157	1,922	526	392	431	
	年間開館日数	295	282	264	266	292	
研修室	年間利用者数	3,975	4,479	2,381	1,598	2036	
	年間開館日数	295	282	264	266	292	

コロナ影響期間

## 2-3-3. 根室市温水プール 利用実績

公認施設ではありますが、市内大会など地元市民の利用実績が高く、それ以外は記録会や各種教室の開催に止まっています。

表 2-8 根室市温水プール 各種大会開催実績（平成30年度）

No.	大会名	種目	開催日	来場者数
1	第51回市民水泳大会	水泳	10月7日	197人
2	第30回根室ジュニア水泳選手権大会（共催）	水泳	11月25日	227人
3	34回根室市水泳選手権大会（共催）	水泳	12月9日	128人
4	平成30年度第2回泳力検定会（共催）	水泳	3月10日	14人
5	平成30年度第2回チャレンジ記録会（共催）	水泳	3月10日	39人

## 2-3-4. 根室市温水プールにおける課題整理

### (1) 内外部の劣化状況

内外壁機能を担うガラスブロックの破損が複数見受けられることに加えて、トレーニング室の雨漏りによる天井の劣化やカビの発生が見られます。



写真 2-25 ガラスブロックの破損



写真 2-26 トレーニング室の雨漏り

### (2) 断熱性能及び空調負荷

窓が断熱性能の低い単板ガラスを使用しているため、冷暖房機器への負荷が高い現状にあり、各所に結露が発生しています。



写真 2-27 断熱性能の低い窓



写真 2-28 結露の発生

### (3) 観覧席の不足

観覧席は選手待機場所を兼ねており、来場観覧者の利用が制限されているなど、全体的な拡充が求められています。



写真 2-29 選手待機場所として使用される室内観覧席



写真 2-30 パイプ椅子の補充を要する室外観覧席

#### (4) 駐車場の不足

施設正面の駐車場の敷地が狭いことに加えて、総合文化会館と共有する駐車場は未舗装で雨天時に悪路状態となるなど、身体の不自由な方や車椅子の方の利用が大変不便な状況となっています。



写真 2-31 敷地が狭い施設正面の駐車場



写真 2-32 未舗装の駐車場

#### (5) 設備機器の不調

経年劣化による老朽化から、採暖室の暖房設備をはじめとした設備機器の不調が見られることに加えて、大会開催時に必要な音響設備や照明設備が不足しています。



写真 2-33 不調の見られる設備機器



写真 2-34 音響設備の無いプール室

#### (6) バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の未対応

既存の多目的トイレのオストメイト対応化が必要である一方、授乳室やエレベータが未設置で階段にのみの施設であるほか、手すりやスロープ等も不足しているなど、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化が求められています。



写真 2-35 オストメイト未対応の多目的トイレ

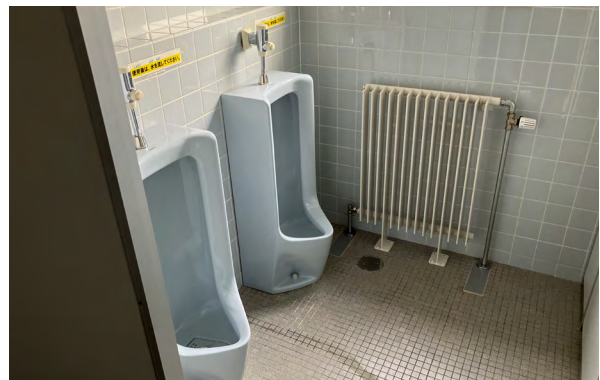


写真 2-36 手すりの無いトイレ室内

## 2-4. 根室市屋内相撲場における現況把握と課題整理

### 2-4-1. 根室市屋内相撲場における現況把握

根室市屋内相撲場は、平成 19 年 9 月に開設されたもので、比較的新しい施設ではありますが、簡易的なプレハブ構造であるため、施設面での耐久性が課題となっています。

表 2-9 根室市屋内相撲場 施設概要

所在地	根室市牧の内 146 番地 16
設置年月日	平成 19 年 9 月 18 日
構造	鉄骨造 平屋建
敷地面積	8,390.60 ㎡ ※根室市青少年センターと共有
延床面積	97.20 ㎡
駐車場	5,427.5 ㎡ (普通車 140 台、大型 22 台) ※根室市青少年センターと共有
利用時間	【平日・土曜日】午前 9 時～午後 9 時【日曜日・祝日】午前 9 時～午後 5 時
休館日	毎週月曜日 (祝祭日の翌日)、12 月 29 日～1 月 3 日

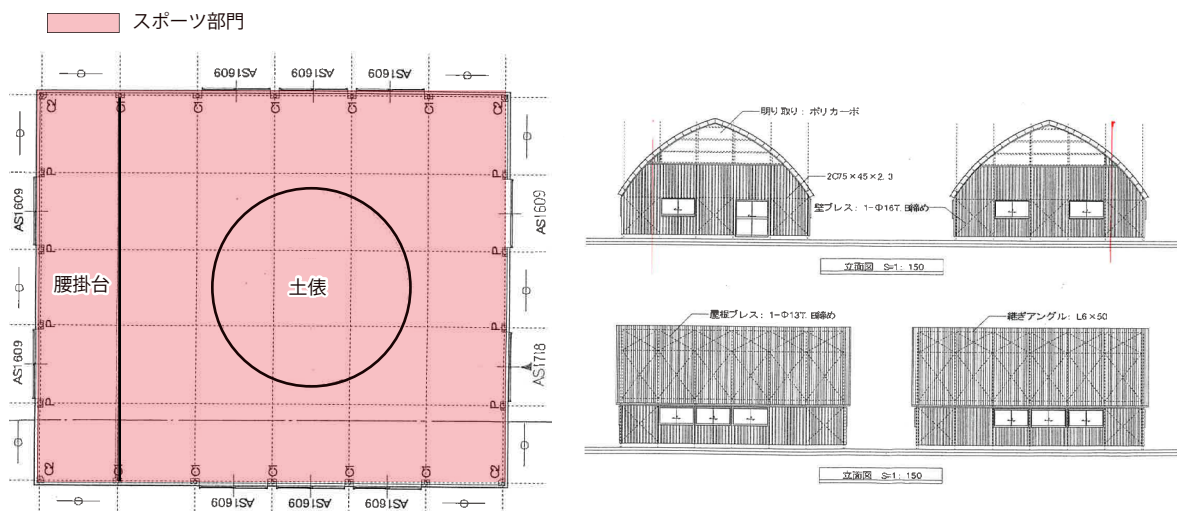


図 2-5 根室市屋内相撲場 平面図・立面図



写真 2-37 根室市屋内相撲場 外観



写真 2-38 根室市屋内相撲場 内観

## 2-4-2. 根室市屋内相撲場 利用者数

令和元年度までは定期的な利用があったものの、令和2年1月に新型コロナウイルス（COVID-19）の感染者が国内で初めて確認されてい以来、社会全体が感染対策としての活動自粛を強いられたこともあり、コロナ流行期においては、流行前の令和元年度と比べ、利用者が皆減するで大幅な減少に転じておりましたが、その後の感染症法上の第5類移行もあり、制限緩和による屋内競技大会の再開など、直近の利用状況では徐々に回復傾向にあります。

表 2-10 根室市屋内相撲場 利用者数（平成30年度～令和5年度）

相撲場		H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
相撲場	年間利用者数	106	108	0	0	0	19
	年間開館日数	51	51	0	0	0	1

コロナ影響期間

## 2-4-3. 根室市屋内相撲場 利用実績

根室市総合体育祭による利用のほか、稽古による利用がありましたが、近年では利用者が非常に少ない状況となっています。

## 2-4-4. 根室市屋内相撲場における課題整理

### (1) 諸機能の不足

プレハブ構造で簡易的に建設された施設であることから、青少年センターと接続されない戸建て方式となっており、トイレや冷暖房設備も無い極端な諸機能の不足が大きな課題となっています。



写真 2-39 青少年センターとの非接続



写真 2-40 個室化されていない更衣室

## 2-5. 根室市の屋内体育施設に対するニーズ

### 2-5-1. 市民・利用者・競技団体を対象とした意向調査の実施結果

#### (1) 意向調査の実施結果に関する概要

平成 29 年～平成 30 年に、市民・利用者・競技団体を対象として、根室市の屋内体育施設に対する課題及びニーズの把握と根室市総合体育館整備に関する基本方針の基礎資料とするための意向調査（アンケート）を実施しており、その中の「建設に関する項目」のみを抜粋した結果内容は次のとおりです。

##### ① 総合体育館に期待する点などに関する市民意向

問 4	総合体育館のあり方についてお聞きします。	
	②	総合体育館にどのようなことを期待しますか。もっとも重要と思われるものはどれですか。
		2つ以内の回答

#### 【結果から見た市民意向】

市民・利用者・競技団体の三者とも「屋内スポーツの各種大会やイベントを開催するスペースの充実」や「次世代を担う子どもたちのスポーツ活動や交流、体力づくりを支える場」を求める意見が共通して多いことが分かります。

また、市民からは「文化活動や興行など、スポーツ以外にも幅広く利用できる場」や「災害時に一時避難できる安心、安全な場所」を求める声も多くなっています。

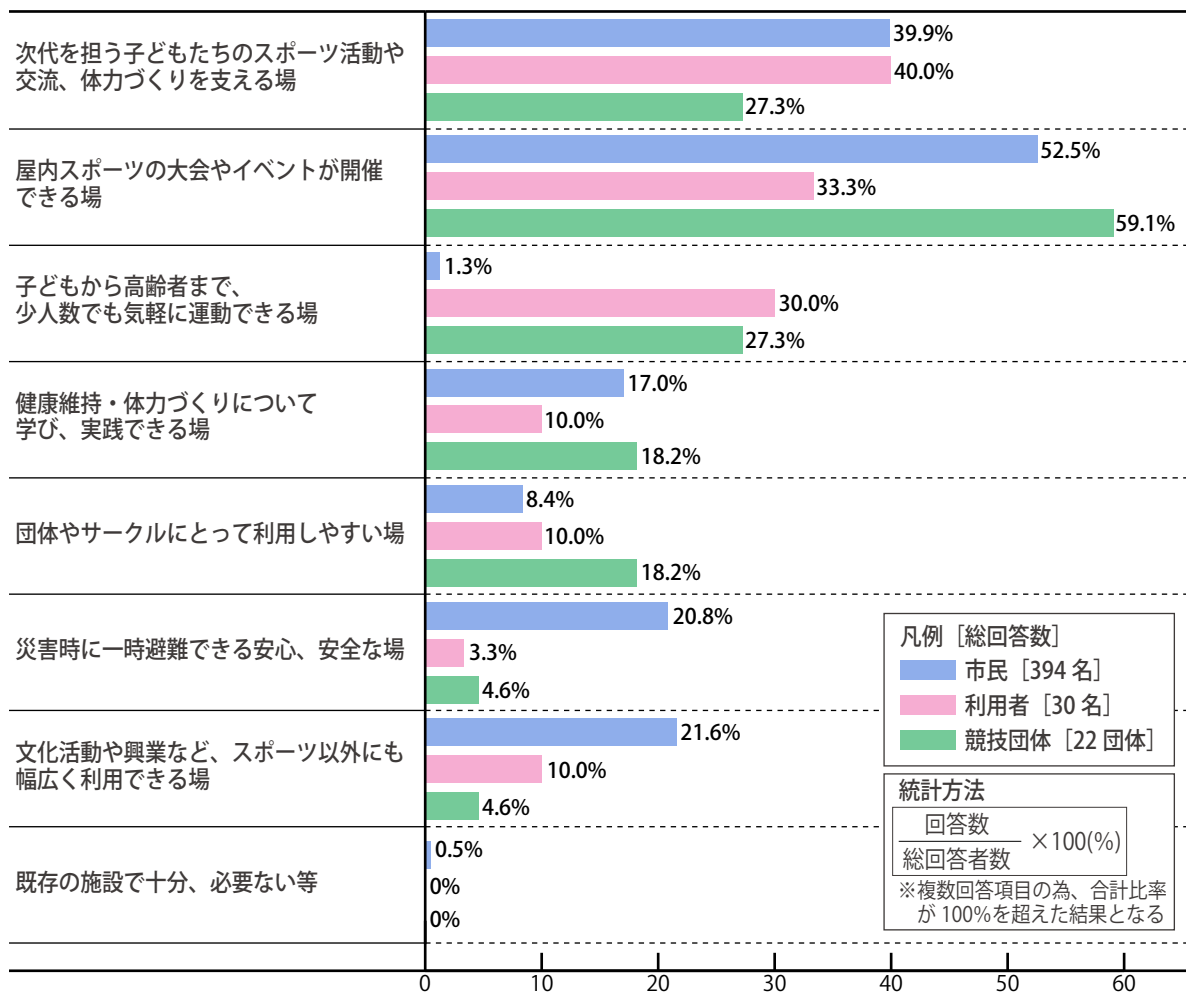


図 2-6 結果（総合体育館に期待することなど市民意向）



② 総合体育館に必要もしくは重要と思う点などに関する市民意向

問 4	総合体育館のあり方についてお聞きします。	
	③	利用しやすく、魅力ある総合体育館としていくために、必要もしくは重要と思われる点はどれですか。

【結果から見た市民意向】

競技団体からは「屋内競技の十分なスペース（コート数）の確保」や「大会やイベントに対応した観覧スペース」を求める意見が多いことが分かります。

また、市民からは「避難所となる安全な建物や防災・避難用品などの備蓄倉庫」を求める声も多くなっています。

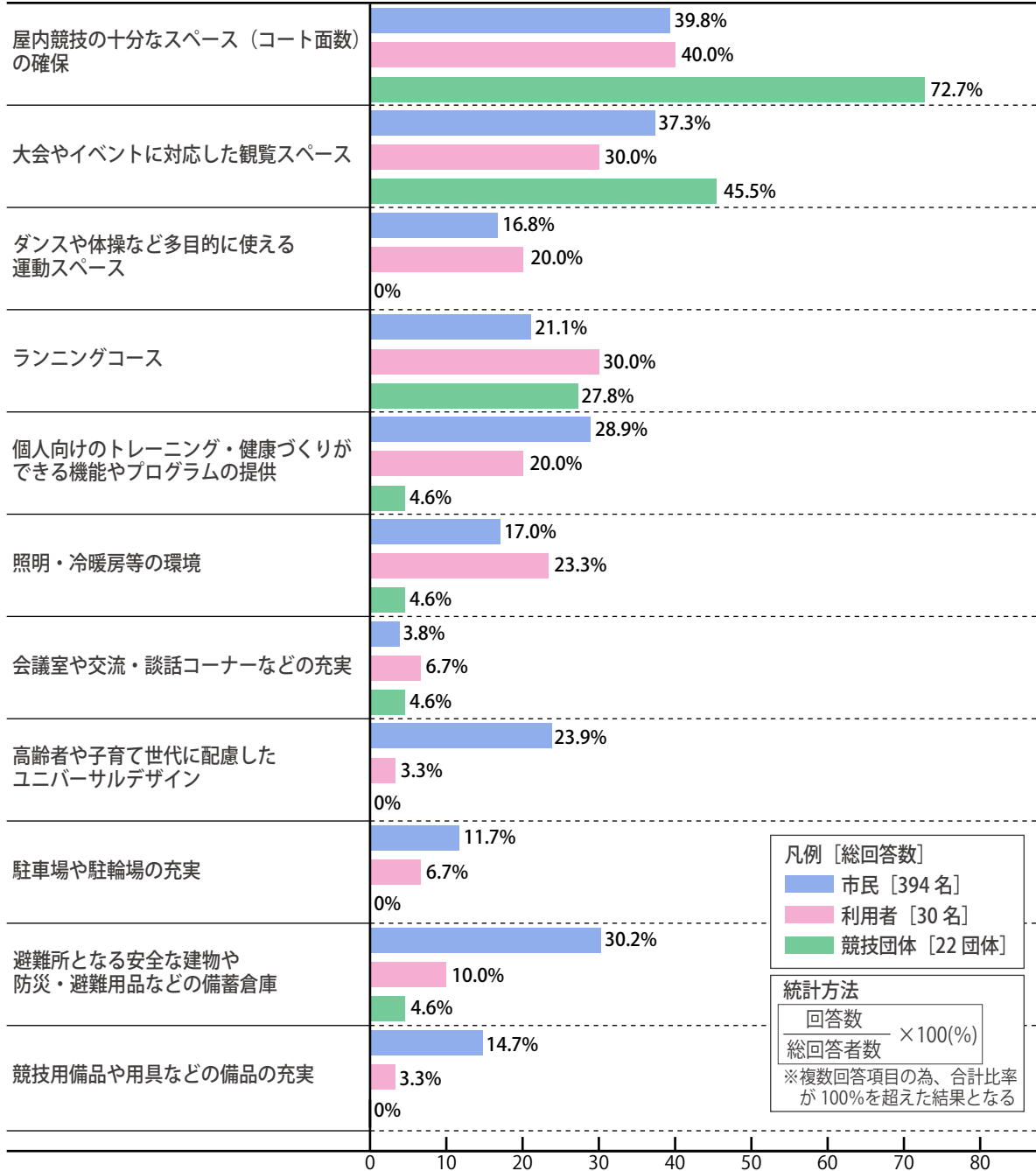


図 2-7 結果（総合体育館に必要もしくは重要と思う点などに関する市民意向）

### ③ 総合体育館の複合化・集約化に関する市民意向

問 7	平成 27 年 12 月に策定されました公共施設等総合管理基本方針において、新規の施設整備にあたっては、単独での新規設置は行わず施設の複合化・集約化を基本としています。総合体育館の建設にあたって施設の複合化・集約化についてご意見などありましたらご記入ください。
-----	--

#### 【結果から見た市民意向】

市民からは、施設の複合化・集約化を望む声が多く寄せられたほか、施設内の設備や機能の充実が求められていることが分かります。

また、その他として、立地に関し市内中心部などアクセスの良い場所での施設の複合化が望まれています。

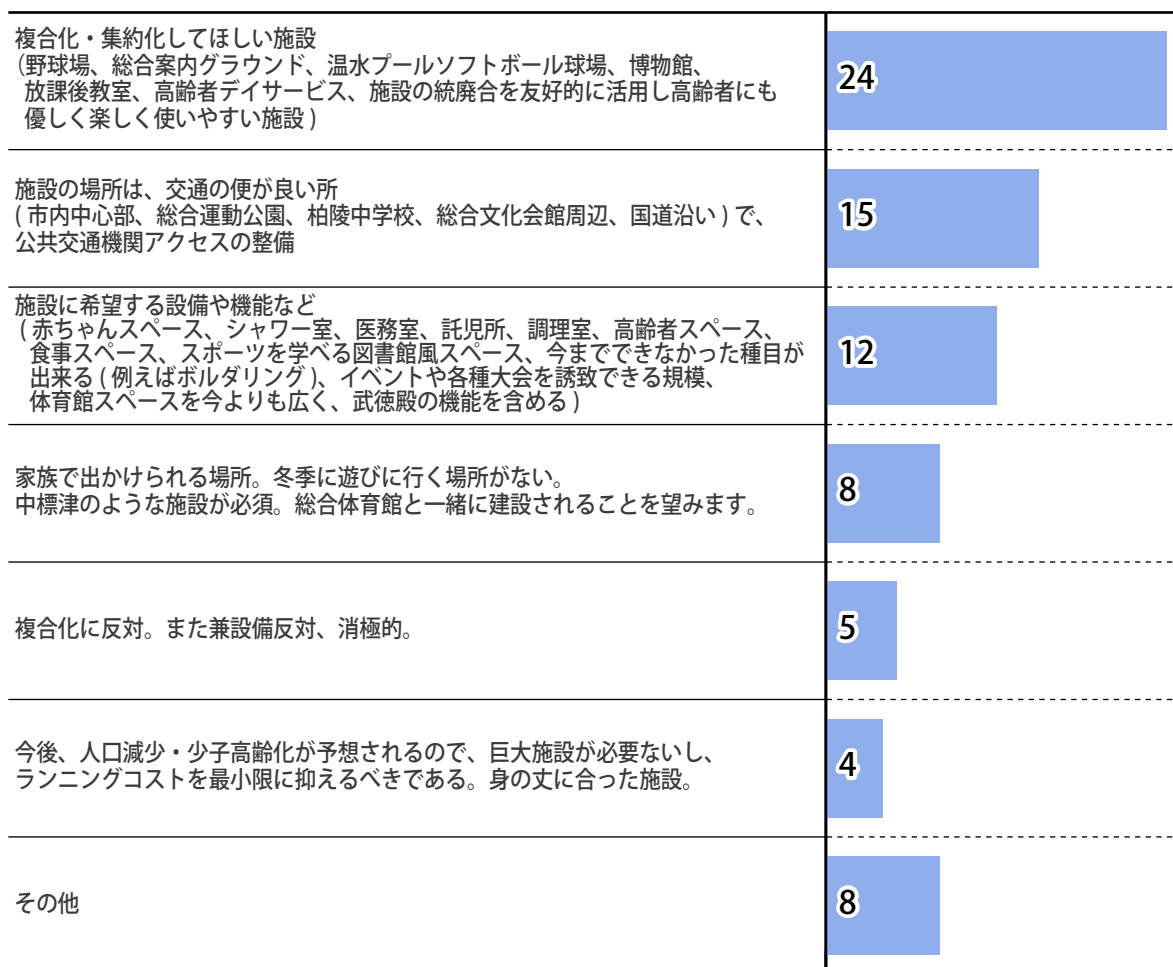


図 2-8 結果（総合体育館の複合化・集約化に関する市民意向）

## 2-6. 根室市の屋内体育施設における課題整理

根室市の屋内体育施設（青少年センター・武徳殿・温水プール・屋内相撲場）におけるそれぞれの現況や課題、更には市民意向調査から得られたニーズを踏まえ、屋内体育施設全体としての主な課題点を次のとおり整理します。

### (1). 経年劣化による著しい老朽化・耐震性や安全性への懸念

- 建物のひび割れや躯体の歪みなど内外部ともに経年劣化による老朽化が著しく、抜本的な対応が必要となっています。
- 築50年を超える根室市青少年センターと根室市武徳殿は、現在の耐震基準を満たしておらず、耐震性や安全性に懸念が生じており、早急な対応が必要です。
- 現在の耐震基準を満たしているものの、築35年で耐用年数が今後課題となる温水プールや、簡易的なプレハブ構造で施設面での耐久性が課題の屋内相撲場も整備対象として検討が必要となっています。

### (2). 施設機能の不足と狭隘化

- 全道大会レベルの公認施設として適合させるために、メイン及びサブ併設のアリーナ構成をはじめ、観覧席の増加やランニングコースの設置など、アリーナ機能全体の抜本的な拡充が必要です。
- 各種団体やサークル等の活動や新たなスポーツジャンルへの対応など、シャワー室や更衣室を含めた共用諸室機能の拡充が必要です。
- 機器類の更新も含め、近年、体力向上など健康志向の高まりから利用者の増加が見込まれるトレーニング室機能の拡充が必要です。
- スポーツ以外の施設機能として、災害時に一時避難できる安心で安全な場所として望む市民の声も多いことから、これを踏まえた防災拠点としての検討が必要です。

### (3). バリアフリー・ユニバーサルデザイン化への対応

- 誰もが快適に利用できるよう、オストメイト対応型多目的トイレをはじめ、授乳室やキッズルームなど、施設全体のユニバーサルデザイン化が必要です。
- 障がいのある方をはじめ、高齢者や妊婦の方などの利用を考慮し、エレベーターや手すりの設置、更には床面のフラット化といった段差解消など、施設全体のバリアフリー化が必要です。

### (4). 立地・アクセスの改善

- 青少年センターと屋内相撲場が中心市街地から遠く離れている上、直接乗り入れる公共交通機関も無いなど、アクセスが困難な状況となっています。
- スポーツ以外の施設機能として、防災拠点化を見据えた場合、避難者が速やかにアクセスできる立地が求められます。

### (5). 分散する屋内体育施設の複合化・集約化

- 市の公共施設等総合管理基本方針で、新規の施設整備の際の複合化や集約化が基本であることに加えて、これを望む市民の声も多いことから、一元的な施設管理体制の導入による利便性の向上を含め、施設の集約化・複合化が求められます。

## 第3章 目指すべき新総合体育会館の姿（基本理念・基本方針・整備方針）

前身組織となる根室市総合体育館整備市民委員会での議論や市民意向調査の結果、更には、これらに基づく整備基本方針など、これまでの流れを踏まえつつ、新たな設置された根室市総合体育会館建設市民委員会での意見や方向性をベースとした「目指すべき新総合体育会館の姿」を明確に示すため、基本構想の要となる「基本理念」をはじめ、これに基づく「基本方針」及び「整備方針」を次のとおり定めます。

### 3-1. 基本理念

新総合体育会館の建設にあたっては、様々な機能を有するスポーツの殿堂とする一方で、市民全体のコンセンサス獲得など、スポーツ以外の機能効果を楽しむ市民全体の施設を目指すことが重要となることから、これらを踏まえた「基本理念」を次のとおり定めます。

**基本  
理念**

**スポーツ愛好家や屋内競技団体は勿論のこと、  
誰もが気軽に集える機能豊かな市民全体の施設を目指して**

### 3-2. 基本方針

新総合体育会館の建設に向けて、目指すべき施設の在り方や方向性を具体的かつ体系的に示すため、前述の「基本理念」との整合の下、4つの視点による「基本方針」を次のとおり定めます。



### 3-3. 整備方針（主要事項における検討結果の明示化）

根室市総合体育会館建設市民委員会グループワークでの主要事項における検討結果の明示化として、前述の基本理念及び基本方針との整合の下、整備方針を次のとおり定めます。

#### 整備方針（需要事項における検討結果の明示化）

##### 1 施設規模

経年劣化で老朽化が著しい青少年センターや武徳殿をはじめ、対応年数が迫る温水プール、簡易構造で耐久性に欠ける相撲場など、これらの課題を抜本的に解消し、大幅な利便性の向上は勿論のこと、健全なコスト管理にも資する「新総合体育会館」として、4つの屋内体育施設を一つに複合化及び集約化します。

##### 2 施設機能

スポーツの殿堂としては勿論のこと、全道大会基準の公認施設としての適合をはじめ、e-スポーツやダンス等の新たなスポーツジャンルも含めた多彩なイベントが開催できる場とするほか、災害時には市内最大の避難所として、市民全体がスポーツ以外の機能効果を楽しむことができる防災拠点とします。

##### 3 施設構成

競技種目毎の公式規格に則ったコートレイアウト等の競技環境の確保をはじめ、誰もが安心して快適に利用できる館内諸室の整備やバリアフリー・ユニバーサルデザインの標準化、更には、災害時への備えとして、強固で耐震性の高い合築型とするなど、避難者が安全に避難所生活を送れる館内環境と動線の確保に意を置いた施設構成とします。

##### 4 建設地

主要幹線道路に直結し市街地中間部に位置するなど優れたアクセス性を有するとともに、敷地全体が浸水の恐れがない高台であるなど、スポーツの殿堂と市内最大の避難所として、二つの機能性を高く発揮することができる「柏陵中学校跡地」を新総合体育会館の建設地として選定します。

### 3-4. 目指すべき新総合体育会館の姿

前述の基本理念・基本方針・整備方針との整合の下、新総合体育会館の建設にあたっての主体的要素となる「目指すべき新総合体育会館の姿」を次のとおり定めます。



- 平常時にあっては、様々なスポーツスタイルへの対応をはじめ、全道大会公認施設への適合や新たなスポーツジャンルを含めた多彩なイベント等の開催など「スポーツの殿堂」としての機能を果たすものとします。
- 非常時にあっては、屋内体育施設特有の広く空洞構造の集合体である特性を大きな収容力として活かすことで、多くの避難者や支援物資を受け入れる「市内最大の避難所」としての機能を発揮させるものとします。

## 第4章 新総合体育会館の建設に関する諸条件の整理

### 4-1. 建設候補地の比較検討と建設地の選定

#### 4-1-1. 建設候補地の比較検討

新総合体育会館の建設地の選定にあたっては、令和2年3月策定の根室市総合体育館整備基本方針において5つの建設候補地を次のとおり掲げており、とりわけ、その基礎となった市民意向調査（市民・利用者・競技団体）では、「立地やアクセス面での改善」が求められているほか、いずれの建設候補地においても、都市計画法で定められた用途地域に基づく建築制限があり、これらを踏まえた検討が必要となります。

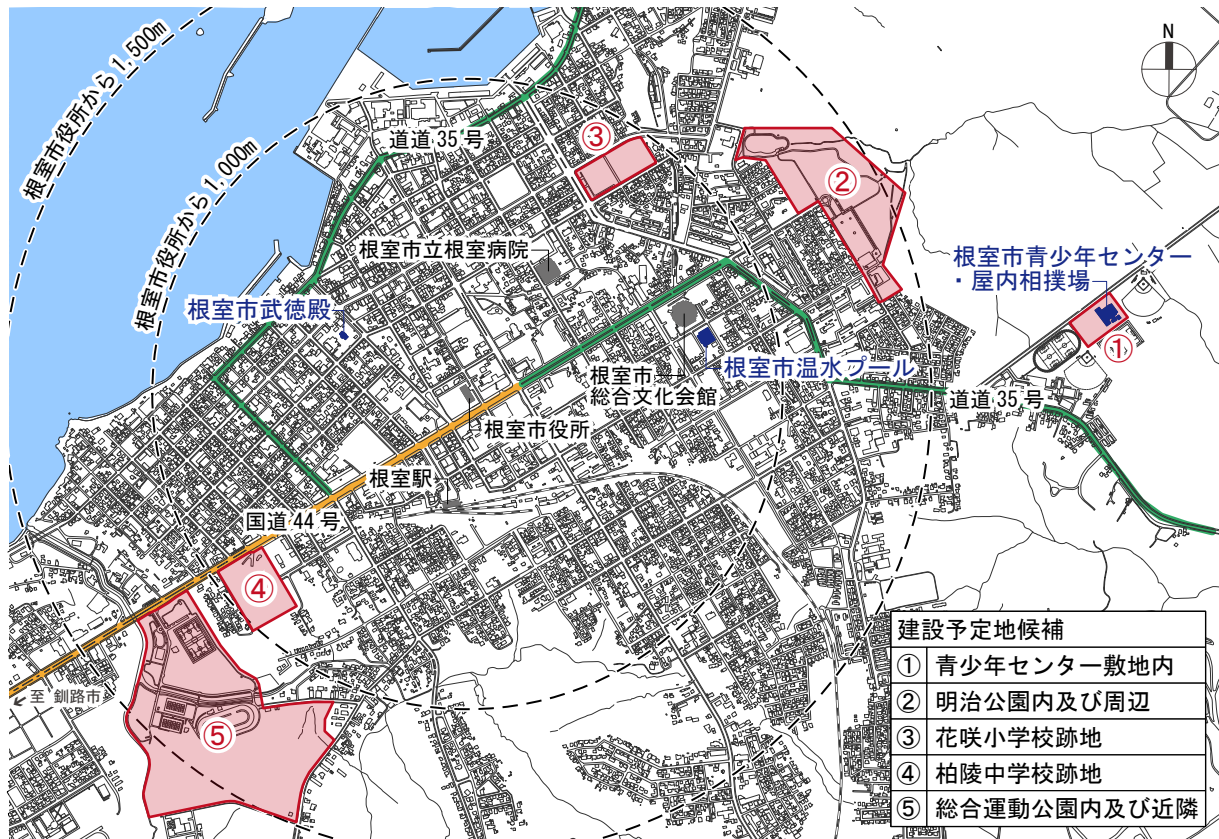


図 4-1 建設候補地の全体位置図

建設候補地の比較検討にあたっては、次の表に掲げる「立地・駐車場・敷地環境・経済性・防災性」から構成する5つの評価項目に基づき行うものとし、その結果、最も優位性が高いものとして絞り込まれた建設候補地の1つを建設地として選定するものとします。

表 4-1 建設候補地の比較検討に関する評価項目

立地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要幹線道路や公共施設、商業施設など市内主要施設からのアクセス</li> <li>・公共交通機関の充実</li> </ul>
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な駐車台数の確保</li> <li>・大型バスを考慮した駐車場や動線の確保</li> </ul>
敷地環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の屋外運動施設との連携</li> <li>・敷地内配置計画の優位性</li> </ul>
経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設解体の有無</li> <li>・敷地造成や地盤改良の有無</li> </ul>
防災性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時の移動の支障が少ない緊急輸送道路からのアクセス</li> <li>・浸水被害の恐れがないこと</li> <li>・根室市役所（災害対応拠点）との連携のしやすさ</li> </ul>

## 4-1-2. 建設候補地における個別評価

① 青少年センター敷地内	
配置イメージ図	
<p>配置イメージ図</p> <p>至 自衛隊駐屯地</p> <p>既存施設利用しながらの建設となり配置計画が限定的である</p> <p>既存建物の解体後に駐車場整備となるなど工期の拡大で若干費用が高む</p> <p>中心市街地からのアクセスが一方のみであり大雪などの悪天候、災害時にアクセスの困難が想定される</p> <p>市役所や中心市街地から遠く離れている</p> <p>北海道根室高等学校</p> <p>道道35号</p> <p>至 市役所</p> <p>周辺の屋外体育施設との連携がしやすい</p>	
建築概要	
所在地	根室市牧の内 146 - 16
用途地域等	第2種中高層住居専用地域
建ぺい率/容積率	200%/60%
評価	
立地	× ・市役所や中心市街地から遠く離れている ・悪天候、災害時のアクセスが困難になることが想定される
駐車場	△ ・建設中の駐車場の確保に難がある
敷地環境	△ ・周辺の屋外体育施設との連携がしやすい ・既存利用をしながらの建設となり配置計画が限定的である
経済性	△ ・既存建物の解体後に駐車場整備となるなど工期の拡大で若干費用が高む
防災性	△ ・災害時に市役所との連携が図りにくい ・浸水の恐れがない

② 明治公園内及び周辺	
配置イメージ図	
<p>配置イメージ図</p> <p>至 市役所</p> <p>既存の樹木や施設があり建設位置及び駐車場位置の選定に難がある</p> <p>既存森林を伐採する必要があり費用が高む</p> <p>市役所との距離が1,500m以内で連携が若干しやすい</p> <p>主要幹線道路からのアクセスが若干劣る</p> <p>総合文化会館</p> <p>道道35号</p> <p>温水プール</p>	
建築概要	
所在地	根室市牧の内 81
用途地域等	第1種低層住居専用地域
建ぺい率/容積率	60%/40%
評価	
立地	△ ・主要幹線道路からのアクセスが若干劣る ・中心市街地から若干離れている
駐車場	△ ・既存の樹木や施設があり駐車場位置の選定に難がある
敷地環境	△ ・既存施設の取り壊し、既存森林の伐採をする必要がある ・配置計画に難がある
経済性	× ・既存森林を伐採する必要があり費用が高む
防災性	○ ・高台で浸水の恐れが無い ・市役所との距離が1,500m以内で連携が若干しやすい

### ③ 花咲小学校跡地

配置イメージ図		建築概要	
		所在地	根室市栄町1丁目1
		用途地域等	第1種住居地域
		建ぺい率/容積率	200%/60%
		評価	
立地	△	・主要幹線道路からのアクセスが若干劣る	
駐車場	○	・十分な駐車台数の確保が可能	
敷地環境	△	・敷地内に3m程の高低差があり、バリアフリー計画に難がある	
経済性	△	・高低差の解消に造成工事が必要であり若干費用が高む	
防災性	○	・高台で浸水の恐れが無い ・市役所との距離が1,000m以内で連携がしやすい	

### ④ 柏陵中学校跡地

配置イメージ図		建築概要	
		所在地	根室市敷島町1丁目10
		用途地域等	第1種住居地域
		建ぺい率/容積率	200%/60%
		評価	
立地	○	・主要幹線道路からのアクセスが良い ・総合運動公園内の屋外体育施設との連携がしやすい	
駐車場	○	・十分な駐車台数の確保が可能 ・整形な敷地で動線計画が容易	
敷地環境	△	・整形な敷地で動線計画が容易 ・敷地内に1~2m程の高低差がある	
経済性	△	・既存建物が無く解体工事が不要で費用が抑えられる ・高低差の解消に造成工事が必要であり若干費用が高む	
防災性	○	・高台で浸水の恐れが無い ・市役所との距離が1,000m以内で連携がしやすい	



⑤ 総合運動公園内及び近隣

配置イメージ図		建築概要	
<p>主要幹線道路からのアクセスが良い</p> <p>至 市役所</p> <p>国道 44 号</p> <p>市役所との距離が 1,500m 以内で連携が若干しづらい</p> <p>既存施設が多く建設位置の選定や駐車場エリアの確保に難がある</p> <p>総合運動公園内が河川の氾濫で浸水の恐れがある</p> <p>総合運動公園内の屋外体育施設との連携がしやすい</p> <p>丘陵地で大規模な造成工事が必要であり費用が高む</p>		所在地	根室市西浜町 1 丁目
		用途地域等	第 1 種住居地域 指定区域無し
		建ぺい率 / 容積率	200% / 60%
評価			
立地	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要幹線道路からのアクセスが良い</li> <li>・総合運動公園内の屋外体育施設との連携がしやすい</li> </ul>	
駐車場	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設が多く駐車場エリアの確保に難がある</li> </ul>	
敷地環境	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設が多く建設位置の選定に難がある</li> </ul>	
経済性	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丘陵地で大規模な造成工事が必要であり費用が高む</li> </ul>	
防災性	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所との距離が 1,500 m 以内で連携が若干しづらい</li> <li>・総合運動公園内が河川の氾濫で浸水の恐れがある</li> </ul>	

### 4-1-3. 建設候補地における総合評価

最も優位性が高いと考えられる建設候補地を絞り込むものとして、それぞれの個別評価を評価項目毎（立地・駐車場・敷地環境・経済性・防災性）に比較検討する総合評価については、次の検証結果を踏まえながら行うものとします。

	①青少年センター敷地内	②明治公園内及び周辺	③花咲小学校跡地	④柏陵中学校跡地	⑤総合運動公園内及び近隣
立地	×	△	△	○	○
駐車場	△	△	○	○	△
敷地環境	△	△	△	△	△
経済性	△	×	△	△	×
防災性	△	○	○	○	△

### 建設的見地など専門的な視点に基づく検証結果

#### 【立地】

ここでは、二つの建設候補地で個別評価の結果が○となっており、市内中心部に位置していることをはじめ、主要幹線道路とのアクセスや公共交通機関が充実しているなど、その比較内容に差も無いことから、「④柏陵中学校跡地」「総合運動公園内及び近隣」の双方が優れていると考えます。

#### 【駐車場】

ここでは、二つの建設候補地で個別評価の結果が○となっており、比較的平坦で整形な敷地の確保や効率的な駐車場計画が可能であるなど、その比較内容に差も無いことから、「③花咲小学校跡地」「④柏陵中学校跡地」の双方が優れていると考えます。

#### 【敷地環境】

ここでは、五つの建設候補地で個別評価の結果が△となっていますが、既存の屋外体育施設と連動しやすいほか、建設候補地における既存施設を事前に取り壊す必要がないなど、これらの中でも、「①青少年センター敷地内」「④柏陵中学校跡地」の双方が比較的優れていると考えます。

#### 【経済性】

ここでは、三つの建設候補地で個別評価の結果が△となっていますが、大きな高低差もなく、大規模な造成工事が不要で費用が抑えられることなど、これらの中でも、「④柏陵中学校跡地」が比較的優れていると考えます。

#### 【防災性】

ここでは、三つの建設候補地で個別評価の結果が○となっていますが、津波浸水想定範囲外であることをはじめ、災害対応時の司令塔である根室市役所との距離が1,000 m以内で連携しやすいこと、更には、主要幹線道路とのアクセス面での優位性など避難者の迅速な受け入れが可能であることから、これらの中でも、「④柏陵中学校跡地」が優れていると考えます。

## グループワークでの結論に対する検証結果

### 【グループAでの結論】

「③花咲小学校跡地」「④柏陵中学校跡地」「⑤総合運動公園内及び近隣」

#### 〈検証結果〉

グループAでは、建設地の選定を一つに絞らず、まとまった敷地が確保可能な二つの学校跡地に加えて、他の屋外体育施設との集約化として総合運動公園内を結論としていますが、総合運動公園内は浸水区域であり、主要幹線道路と直結しない丘陵地が建設地であることから、避難所としての動線確保が困難と考えます。

また、残る二つの学校跡地については、敷地段差を比較した場合、「④柏陵中学校跡地」が1～2m程度であるのに対し、「③花咲小学校跡地」が3m程度と約二倍程度の規模となっており、造成費用が嵩む点で経済性を欠くものと考えられます。

### 【グループBでの結論】

「交通アクセスの良さが重要」

#### 〈検証結果〉

グループBでは、あえて建設地の選定を行わず、交通アクセスの良さが重要とする結論に至っていますが、五つの建設候補地に対する市内バス路線数を見た場合、市立病院前を最寄停留所とする特性から「③花咲小学校跡地」が6路線34本と最も多く、次いで、根室花まる前と敷島町2丁目を最寄停留所とする「④柏陵中学校跡地」が3路線20本となっており、市内バス路線数に限って言えば、これら二つの建設候補地が比較的優れているものと考えます。

一方、グループ内での個別意見では「花咲小では中学生に遠い」とする声をはじめ、「総合的に考えると中心部が良い」や「トータルで考えると旧柏陵中跡地」といった声もあることから、市内バス路線が多い少ないに限らず、徒歩や自転車などでも気軽にアクセスできる立地性や、その場合の優れた道路環境なども加味する必要があるものと考えます。

## 【グループCの結論】

「柏陵中学校跡地」

### 〈検証結果〉

グループCでは、「④柏陵中学校跡地」を建設地に選定することで委員全員の意見が一致した結論となっていますが、グループ内での個別意見では、「将来学校が現柏陵中・光洋中の2ヶ所を想定するとその中間が良い」とする声をはじめ、「避難所として市役所に近い方が良い」や「敷地が広く国道沿いでアクセスが良い」といった声が出されたことなど、前述の「個別評価の結果（○が最も多い）」にも沿った形と考えます。

#### 4-1-4. 建設地の選定

以上、個別評価を比較検討し、更なる検証結果を踏まえた総合評価として「④柏陵中学校跡地」が最も優位性が高い建設候補地であると考えます。

よって、主要幹線道路に直結し市街地中間部に位置するなど優れたアクセス性を有するとともに、敷地全体が浸水の恐れが無い高台であるなど、平常時はスポーツの殿堂、非常時は市内最大の避難所として、二つの機能性を高く発揮することができるなどの理由から、

**新総合体育会館は「④柏陵中学校跡地」を建設地に選定します**

## 4-2. 部門別の館内構成・競技環境の確保・諸室機能の整理

### 4-2-1. 部門別の館内構成

新総合体育会館は、アリーナ・武道場・プール・共用諸室・管理の五つの部門による館内構成とし、スポーツの殿堂としての機能を高める一方、市内最大の避難所として、避難生活に必要な広さ・間取り・動線の確保とも整合を図るものとします。

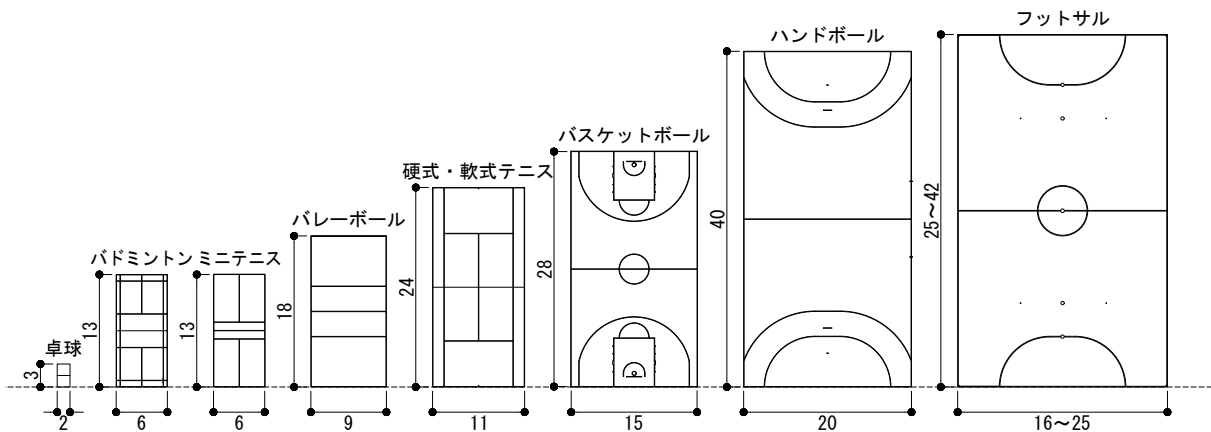
表 4-2 部門別の館内構成に対する考え方

アリーナ部門	球技種目を主として、青少年センターを継承する機能
武道場部門	格技種目を主として、武徳殿及び屋内相撲場を継承する機能
プール部門	水泳種目を主として、温水プールを継承する機能
共用諸室部門	その他の活動用途や利便性の確保に資する機能
管理部門	施設全体の管理運営を主とする機能

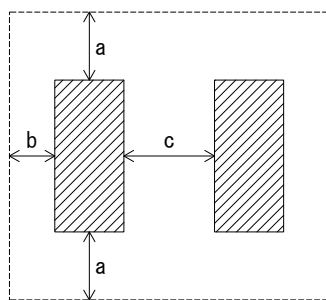
### 4-2-2. 競技環境の確保

アリーナ・武道場・プール部門にあっては、全道大会基準による公認施設に適合させるため、屋内競技団体別専門分野ヒアリングに基づくコートレイアウトなど、国内競技組織等が定める規格等に則った競技環境を確保するものとします。

コートの大きさ（公式規格）



セーフティーエリア（公式規格）

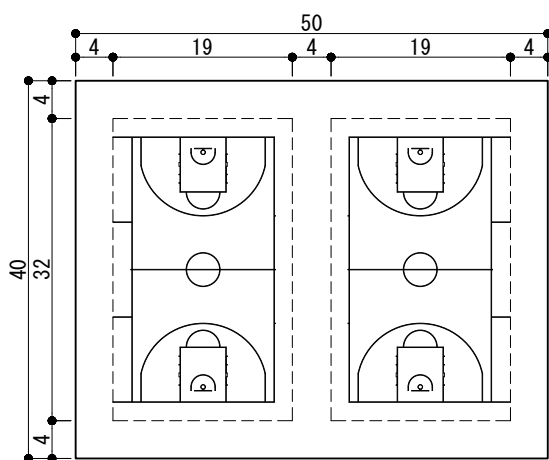


	a	b	c
卓球	2.738m以上	5.630m以上	5.630m以上
バドミントン	2.0m以上	2.0m以上	2.0m以上
ミニテニス	2.0m以上	2.0m以上	2.0m以上
バレーボール	6.5m以上	5.0m以上	5.0m以上
硬式テニス	6.4m以上	3.66m以上	7.32m以上
軟式テニス	6.4m以上	5.0m以上	5.0m以上
バスケットボール	2.0m以上	2.0m以上	2.0m以上
ハンドボール	2.0m以上	1.0m以上	2.0m以上
フットサル	2.0m以上	1.0m以上	≥4.0

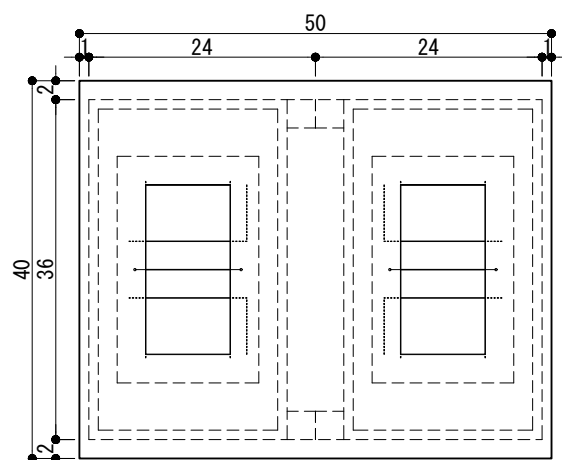
(1) アリーナ部門における競技環境の確保 (公式・非公式規格)

図 4-1 アリーナ部門における競技種目別コートレイアウト (公式・非公式規格)

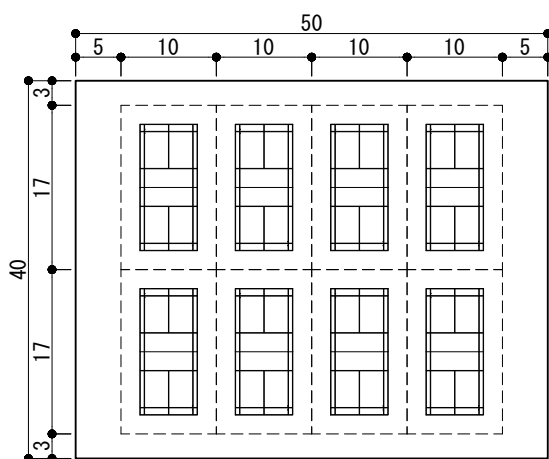
メインアリーナ



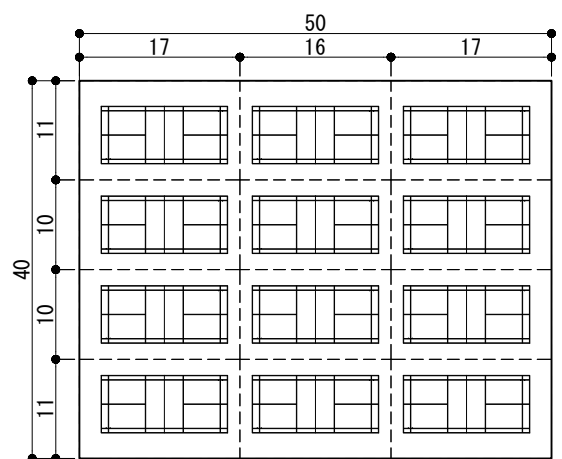
バスケットボール【公式】(2面)



バレーボール【公式】(2面)

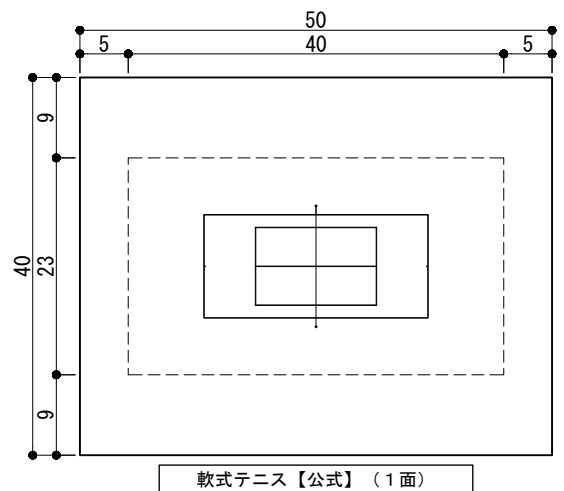
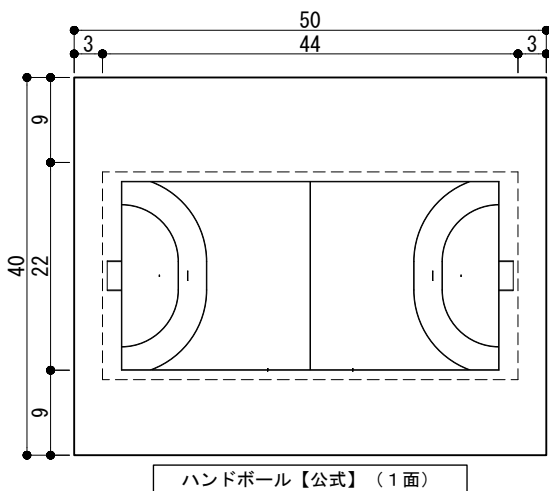
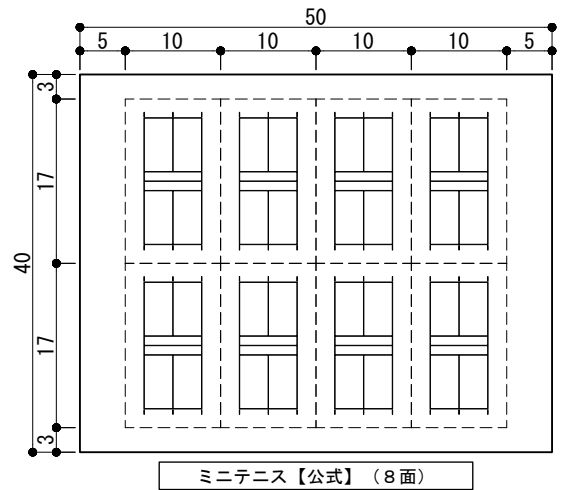
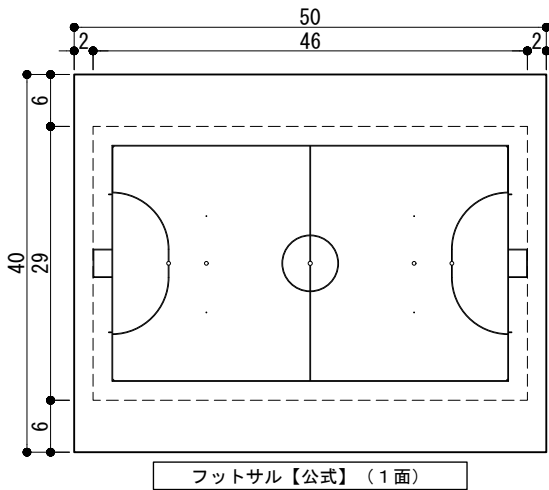
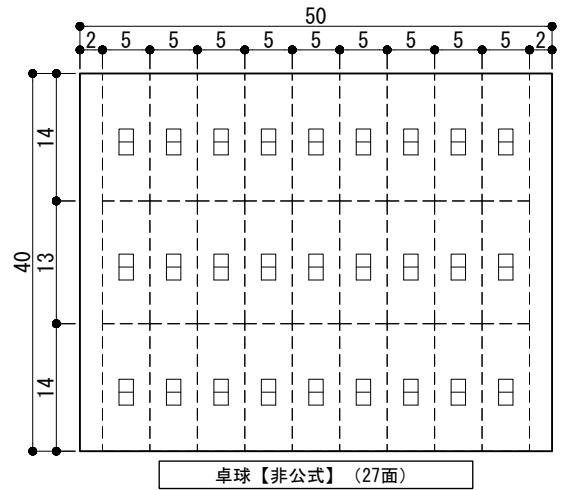
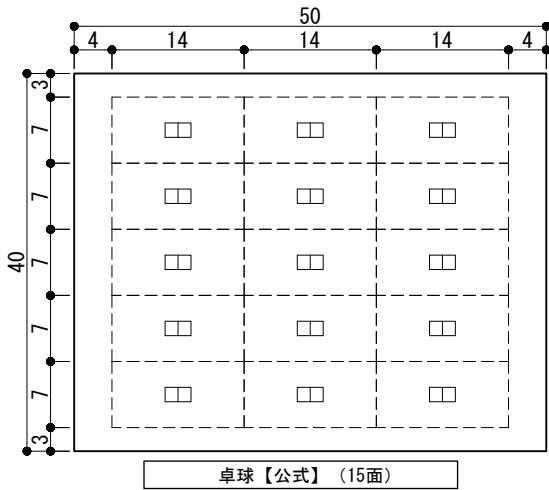


バドミントン【公式】(8面)

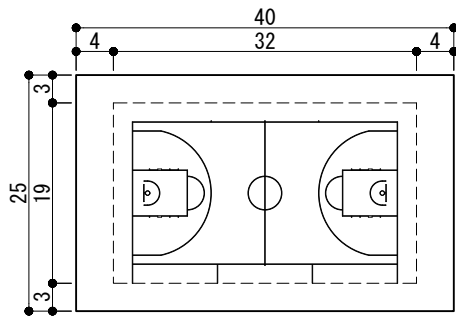


バドミントン【非公式】(12面)

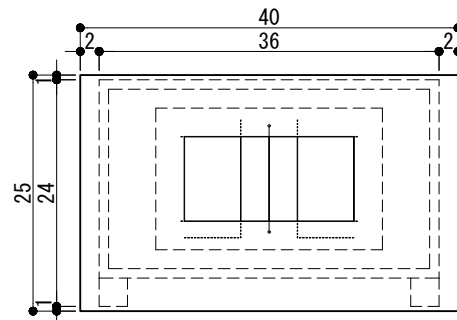
メインアリーナ



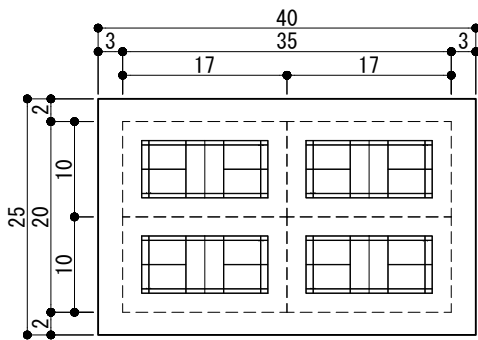
サブアリーナ



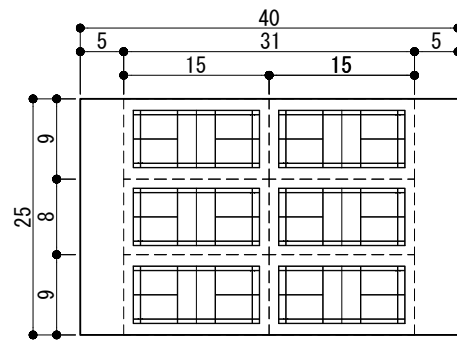
バスケットボール【公式】（1面）



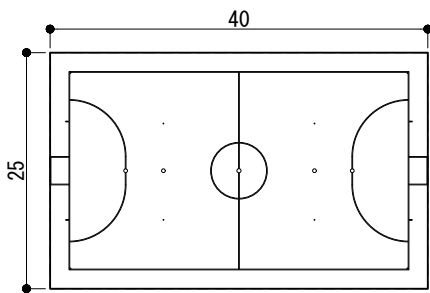
バレーボール【公式】（1面）



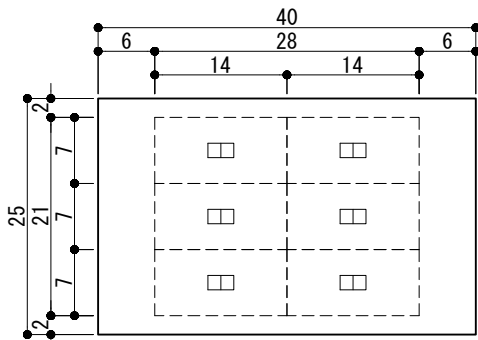
バドミントン【公式】（4面）



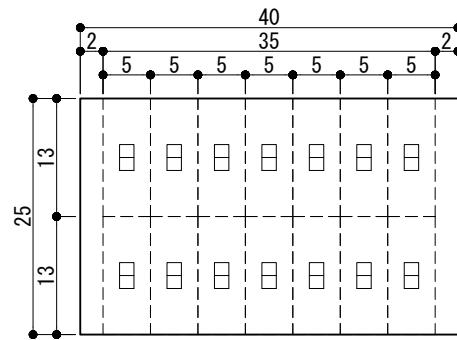
バドミントン【非公式】（6面）



フットサル【公式】（1面）



卓球【公式】（6面）



卓球【非公式】（14面）



表 4-3 アリーナ部門における道内自治体事例との比較

施設名	総延床面積	備 考
中標津町 中標津町総合体育館 330°(さんさんまる)アリーナ	6,826 m <sup>2</sup>	平成 28 年 (2016) 開館 【メインアリーナ】 1,919.09 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 2 面 観覧席 472 席 (車椅子席 8 席) 【サブアリーナ】 803.48 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 1 面
室蘭市 栗林商会アリーナ	7,782 m <sup>2</sup>	令和 4 年 (2022) 開館 【メインアリーナ】 1,893 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 2 面 観客席 790 席 (車椅子席 18 席) 【多目的ホール】 768 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 1 面
伊達市 伊達市総合体育館「あかつき」	7,410 m <sup>2</sup> (体育館棟)	平成 24 年 (2012) 開館 【メインアリーナ】 1,809 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 2 面 観覧席 628 席 (車椅子席 24 席) 【サブアリーナ】 740 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 1 面
釧路市 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (湿原の風アリーナ釧路)	14,069 m <sup>2</sup>	平成 20 年 (2008) 開館 【メインアリーナ】 2,806 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 3 面 観覧席 1,416 席 【サブアリーナ】 874 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 1 面 観覧席 100 席
帯広市 よつ葉アリーナ十勝	14,848 m <sup>2</sup>	令和 2 年 (2020) 開館 【メインアリーナ】 2,806 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 3 面 観覧席 2,883 席 (うち移動席 1,280 席、可動席 384 席、車椅子席 28 席) 【サブアリーナ】 1,056 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 1 面 観覧席 246 席 (車椅子席 2 席)
札幌市 北ガスアリーナ札幌 46	16,872 m <sup>2</sup>	令和元年 (2019) 開館 【アリーナ】 2,612 m <sup>2</sup> 、バレーボール公式 3 面 観客席 2,460 席 (可動席 1,104 席、車椅子席 22 席)

## (2) 武道場部門における競技環境の確保（公式規格）

図 4-2 武道場部門における別競技種目別コートレイアウト（公式規格）

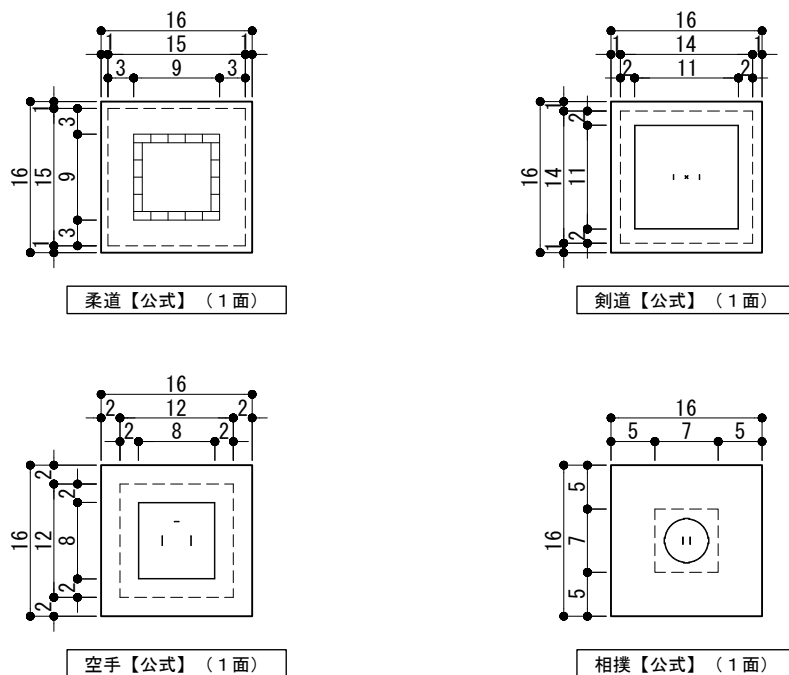


表 4-4 武道場部門における道内自治体事例との比較

施設名	総延床面積	備考
札幌市 北ガスアリーナ札幌 46	16,872 m <sup>2</sup>	柔道室 225 m <sup>2</sup> 、剣道室 230 m <sup>2</sup> 、 武道室 232 m <sup>2</sup> 、ボクシング室 278 m <sup>2</sup> 、 相撲室 227 m <sup>2</sup> 、弓道室 528 m <sup>2</sup>

### (3) プール部門における競技環境の確保（公式・任意規格）

図 4-3 プール部門における競技種目別コートレイアウト（公式・任意規格）

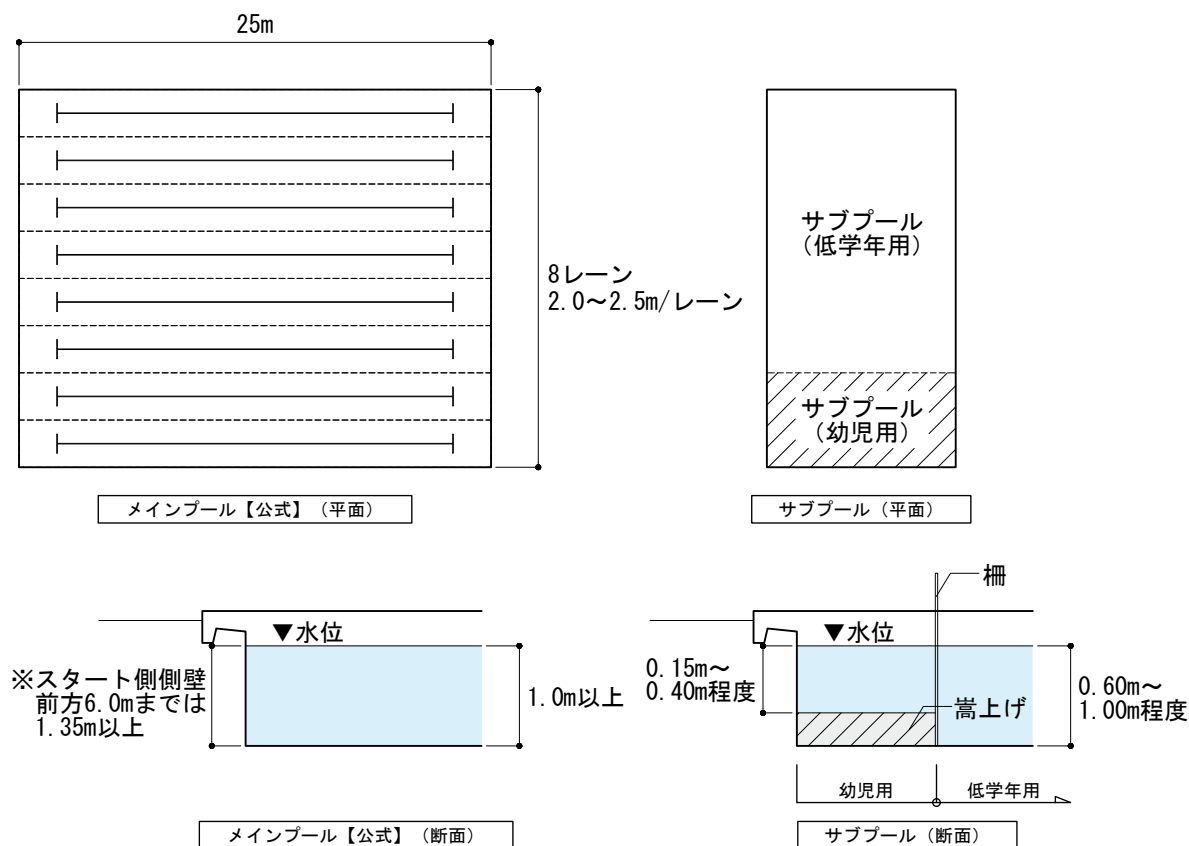


表 4-5 プール水深に関する考え方

公式規格	メインプール	1.00 以上	【メインプールでスタート台使用の場合】 端壁前方 6.00 m までの水深 は 1.35 m 以上 出典：プール公認規則（日本水泳連盟）
任意規格	サブプール（幼児用）	0.15 m ~ 0.40 m 程度	-
	サブプール（低学年用）	0.60 m ~ 1.00 m 程度	-

表 4-6 プール部門における道内自治体事例との比較

施設名	規格・レーン・水深	備考
【公認】 中標津町 中標津町温水プール	規格 : 25 m × 17 m レーン : 8 レーン 水深 : 1.3 ~ 1.4 m	平成 4 年 (1992) 開館 小プール : 15m × 10m、水深 0.8 ~ 0.9m 幼児プール : 60 m <sup>2</sup> 、水深 0.4 ~ 0.45m 観客席 (ベンチ) : 80 席
【公認】 釧路市鳥取温水プール	規格 : 25m レーン : 6 レーン 水深 : 1.1 ~ 1.3m	平成 3 年 (1991) 開館 低学年プール : 20m × 8m、水深 0.7 ~ 0.8m 幼児プール : 水深 0.4 ~ 0.5m
【公認】 網走市民健康プール	規格 : 25m レーン : 8 レーン 水深 : 1.4m	平成 27 年 (2015) 開館 児童プール : 9.5m × 8m、水深 0.8m 多目的プール : 14m × 7.75m、水深 1.05m
【公認】 紋別市健康プール	規格 : 25m レーン : 7 レーン 水深 : 1.2 ~ 1.5m	平成 2 年 (1990) 開館流水プール広場・ウォータースライダー 2 基 屋外プール (夏期のみ) 観客席 : 160 席
【公認】 北見市民温水プール	規格 : 25m レーン : 8 レーン 水深 : 1.35m ※メインプールのうち 4 レーンに可動床を導入 (0.8 ~ 1.35m)	平成 27 年 (2015) 開館 多目的プール : 水深 1.0m 幼児プール : 水深 0.5m ジャグジープール : 水深 0.6m
【公認】 室蘭市 入江運動公園温水プール	規格 : 25 m レーン : 8 レーン 水深 : 1.2 ~ 1.35 m	平成 6 年 (1994) 開館 児童用プール : 水深 0.75 m 幼児用プール : 水深 0.55 m
【公認】 深川市 深川市温水プール「ア・エール」	規格 : 25 m レーン : 7 レーン 水深 : 可動床 0 ~ 1.5 m	平成 12 年 (2000) 開館 流水プール : 水深 1 m 子供・幼児プール : 93.3 m <sup>2</sup> 、水深 0 ~ 0.55m
【公認】 稚内市 稚内市温水プール水夢館	規格 : 25 m レーン : 7 レーン 水深 : 1.2 m	平成 6 年 (1994) 開館 流水プール 子供プール
【公認】 帯広の森市民プール	規格 : 50m × 25m レーン : 50m 使用時 8 レーン、25m 使 用時 18 レーン 水深 : 1.2 ~ 1.4m ※メインプールのうち 10m × 25m に可動床を 導入 (0.8 ~ 2.5m)	平成 8 年 (1996) 開館 児童プール : 132 m <sup>2</sup> 、水深 0.8m 幼児プール : 94 m <sup>2</sup> 、水深 0.5m 観客席 : 509 席
【非公認】 伊達市 伊達市総合体育館「あかつき」	規格 : 25 m レーン : 7 レーン 水深 : 1.1 ~ 1.35 m	平成 26 年 (2014) 開館 歩行者用プール : 10 m × 5.5 m、水深 1.0 m 幼児プール : 4.7 m 3.2 m、水深 0.5m ジャグジー

## 4-2-3. 諸室機能の整理

### (1) アリーナ部門における諸室機能の整理

#### ① メインアリーナ

- 大規模な各種競技大会や記録会の主会場としては勿論のこと、その観戦や見学の場として、更には一般開放等の日常利用といった諸室機能を想定します。
- 各種スポーツイベントをはじめ、スポーツ講演会や式典会場としての利用、更にはスポーツ教室の開催など、様々な用途に対応可能な諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者居住スペースとしての活用を想定します。
- メインアリーナの想定規模は、バレーボール及びバスケットボールにおける公式規格2面分のコートレイアウトを基本としつつ、床面積は約2,000㎡前後を想定します。

#### ② サブアリーナ

- メインアリーナを主会場とする大規模な各種競技大会等の際の副会場をはじめ、一般開放等での並行利用など、補完的な諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者居住スペースとしての活用を想定します。
- サブアリーナの想定規模は、バレーボール及びバスケットボールにおける公式規格1面分のコートレイアウトを基本としつつ、床面積は約1,000㎡前後を想定します。

#### ③ ランニングコース・ウォーキングコース

- 悪天候や厳冬期を問わず、健康増進や体力づくりを支える設備として、館内2階オープンフロア（メインアリーナ周回型）での設置を想定します。
- 災害発生時において、長期間の避難所生活が見込まれる場合など、避難者の健康や体調管理をサポートする諸室機能としての活用を想定します。

#### ④ 観覧席・選手待機席・競技運営室兼審判控室

- 大規模な各種競技大会や記録会など、運営面を支える附帯的な諸室機能を想定します。

### (2) 武道場部門における諸室機能の整理

#### ① 柔道室・剣道室・空手室・相撲室

- 武道場部門の要となるこれらの諸室は、それぞれの競技種目が有する特性を踏まえ、専用的な諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者居住スペースとしての活用を想定します。

#### ② 共用観覧席

- 武道場部門における十分な競技環境の確保から、共用観覧席を想定します。

### (3) プール部門における諸室機能の整理

#### ① メインプール

- 大規模な各種競技大会や記録会の主会場としては勿論のこと、その観戦や見学の場として、更には一般開放等の日常利用といった諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、生活用水貯水機能としての活用を想定します。
- メインプールの想定規模は、現在の温水プールが有する公認機能を維持するものとして、これまでの25m短水路とする一方、新たに8レーン化を想定します。

## ② サブプール（幼児用・低学年用）

- 小学校体育授業での水泳教室や各種スイミングスクールのほか、一般開放等の日常利用といった諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、生活用水貯蔵機能としての活用を想定します。

## ③ 共用観覧席

- プール部門における十分な競技環境の確保と衛生管理上の観点から、武道場部門同様、共用観覧席を想定します。

## ④ 採暖室・監視室・オストメイト対応型多目的トイレ・更衣室・シャワー室・選手待機席・競技運営室兼審判控室

- 大規模な各種競技大会や記録会等を中心とした運営面のほか、一般開放等での日常利用における附帯的な諸室機能を想定します。

# (4) 共用部門における諸室機能の整理

## ① トレーニング室

- トレッドミルをはじめとした各種トレーニング機器を配置するなど、健康増進や体力づくりを支える諸室機能を想定します。
- 災害発生時において、長期間の避難所生活が見込まれる場合など、避難者の健康や体調管理をサポートする諸室機能としての活用を想定します。

## ② 多目的室

- 大型鏡（スタジオミラー）を設置するなど、エアロビクスやダンス等のサークル活動をはじめ、様々な用途に対応可能な諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者生活を支える諸室機能としての活用を想定します。

## ③ 会議室

- 各種会合やミーティングのほか、競技大会前の役員会議や各種スポーツイベントにおける実行委員会など、専用的な諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者生活を支える諸室機能としての活用を想定します。

## ④ 正面玄関・エントランスホール

- 新総合体育会館の顔として、開放感溢れるオープン形式の空間をイメージするなど、快適で便利な正面玄関・エントランスホールを想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者を受け入れる窓口ともなるため、わかり易い館内サインの表示方法について検討します。

## ⑤ キッズスペース

- 幼児連れの親子が気軽に訪れる場とするほか、遊具類での遊びを通じながら、スポーツへの興味や親しみを幼少期から育む場としての諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者生活を支える諸室機能としての活用を想定します。

## ⑥ オストメイト対応型多目的トイレ

- ユニバーサルデザインの観点から、オストメイト対応型多目的トイレを標準化する一方、館内動線を考慮しながら必要な設置数を検討します。

## ⑦ 更衣室・シャワー室

- 競技スポーツの利用者を中心として、快適で便利な新たな諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者生活を支える諸室機能を想定します。

## ⑧ 授乳室

- 乳幼児を育てる母親が安心して快適に利用できるよう、室内を個別ブースによる構造とするなど、専用的な諸室機能を想定します。

## ⑨ エレベーター・階段・廊下

- バリアフリーの観点から、車椅子対応型エレベーターを標準化する一方、階段や廊下を含め館内動線を考慮しながら適切な場所での設置を検討します。

## ⑩ 前庭広場

- 前庭広場は、市民の憩いの場としての屋外機能を想定します。

## ⑪ 駐車場・駐輪場

- 駐車場は、一般開放等の日常利用から大規模な各種競技大会等の開催時まで対応可能な駐車スペースを確保するなど、安全面にも配慮した屋外機能を想定します。
- 全道大会の開催時など、地方選手団が利用する大型バスの専用駐車スペースの確保についても想定します。
- 駐輪場は、一般開放等の日常利用などにおいて、小・中学生や高校生などを中心とした幅広い利用が見込まれることから、十分な駐輪スペースの確保を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者生活を支える屋外機能としての活用を想定します。

## (5) 管理部門における諸室機能の整理

### ① 事務室

- 施設全体の管理運営をはじめ、教育員委員会主管課の入居による各種相談や制度申請などスポーツ行政全般の総合窓口としての諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者生活を支える諸室機能としての活用を想定します。

### ② 機械室・器具庫・物品庫

- 施設全体の熱源及び空調管理をはじめ、競技種目毎に用いるスポーツ用具類等の収納スペースとしての諸室機能を想定します。
- 災害発生時には、防災拠点機能たる市内最大の避難所として、避難者生活を支える諸室機能としての活用を想定します。

### ③ 大型防災備蓄庫

- 市内最大の避難所として、避難者に提供する食糧・飲料類をはじめ、生活用品や衣類、更には防災用具全般の保管など、主要な防災拠点機能としての整備を想定します。

### ④ 非常用電源設備庫・非常用燃料貯蔵庫

- 市内最大の避難所として、停電時でも施設稼働をバックアップするなど、主要な防災拠点機能としての整備を想定します。

表 4-7 新総合体育会館の諸室機能に関する諸元表

部門	諸室・設備	想定床面積	諸室概要
アリーナ部門	メインアリーナ	約 2,000 m <sup>2</sup> 前後	■ バレーボール 公式 2 面 ■ バスケットボール 公式 2 面 ■ バドミントン 公式 8 面・非公式 12 面 ■ 卓球 公式 15 面・非公式 27 面 ■ フットサル 公式 1 面、■ ミニテニス 公式 8 面 ■ ハンドボール 公式 1 面、■ 軟式テニス 公式 1 面 ※ アリーナ寸法 50 m × 40 m程度を想定
	サブアリーナ	約 1,000 m <sup>2</sup> 前後	■ バレーボール 公式 1 面 ■ バスケットボール 公式 1 面 ■ バドミントン 公式 4 面・非公式 6 面 ■ 卓球 公式 6 面・非公式 14 面 ■ フットサル 公式 1 面 ※ アリーナ寸法 25 m × 40 m程度を想定
	ランニングコース	約 500 m <sup>2</sup> 前後	※ 1 周 200 m程度を想定
	観覧席		※ 500 席程度を想定
	選手待機席		
競技運営室兼審判控室			
武道場部門	柔道室	約 1,000 m <sup>2</sup> 前後	※ 専用室 1 室
	剣道室		※ 専用室 1 室
	空手室		※ 専用室 1 室 (合気道・拳法等を含む)
	相撲室		※ 専用室 1 室
	共用観覧席		
プール部門	メインプール	約 1,500 m <sup>2</sup> 前後	※ 公認 短水路 25 m × 8 レーン (2.0 m ~ 2.5 m) ※ 公認 水深 1.00 以上 (スタート側側壁から 6 m までは 1.35 m 以上)
	サブプール (幼児用)		※ 任意 水深 0.15 m ~ 0.40 m 程度、設備規模等は別途検討
	サブプール (低学年用)		※ 任意 水深 0.60 m ~ 1.00 m 程度、設備規模等は別途検討
	共用観覧席		
	採暖室		
	監視室		
	オストメイト対応型 多目的トイレ		※ プール室内への設置を想定
	更衣室・シャワー室		※ プール室内への設置を想定
	選手待機席		
	競技運営室兼審判控室		



部門	諸室・設備	想定床面積	諸室概要
共用諸室部門	トレーニング室	約 3,000 m <sup>2</sup> 前後	※ 道内自治体の事例を参考に総床面積の 30%程度を想定
	多目的室		
	会議室		
	正面玄関・エントランスホール		
	キッズスペース		
	オストメイト対応型多目的トイレ		
	更衣室・シャワー室		
	授乳室		
	エレベーター・階段		
	前庭広場	—	※ 外構設備につき総床面積より除外・設備規模等は別途検討
	駐車場・駐輪場	—	※ 外構設備につき総床面積より除外・設備規模等は別途検討
管理部門	事務室・放送室	約 1,000 m <sup>2</sup> 前後	※ 道内自治体の事例を参考に総床面積の 10%程度を想定
	機械室・器具庫・物品庫		
	大型防災備蓄庫		
	非常用発電設備庫・非常用燃料貯蔵庫	—	※ 外構設備につき総床面積より除外・設備規模等は別途検討
総床面積		約 10,000 m <sup>2</sup> 前後	

※ 上記内容は、あくまでも基本構想段階における目安として示すものであり、今後予定する基本計画や基本設計段階での検討や判断等によって、変更される場合があります。

表 4-8 新総合体育会館の利用目的と諸室機能に関する相関表

想定される 利用目的	スポーツ視点																									
	競技スポーツ										健康スポーツ					レクリエーションスポーツ										
	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	卓球	フットサル	ミニテニス	ソフトバレー	柔道	剣道	空手・合気道・拳法	相撲	水泳	ランニング	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	アクアビクス	筋力トレーニング	体操・ストレッチ	スポーツ吹き矢	職場福利厚生スポーツ会	幼児育成親子スポーツ会	ダンス	ブレイクダンス	チームダンス		
利用目的に応じた 必要諸室																										
	アリーナ部門	メインアリーナ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		サブアリーナ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ランニングコース・ウォーキングコース	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		観客席	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		選手待機席	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
競技運営室兼審判控室		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
武道場部門	柔道室	●						○																		
	剣道室	●							○																	
	空手室	●								○																
	相撲室	●									○															
	共用観覧席	●								○	○	○														
プール部門	メインプール	●										○	●			○										
	サブプール（幼児用）	●										○														
	サブプール（低学年用）	●										○														
	共用観覧席	●										○														
	採暖室	●										○	●			○										
	監視室	●										○	●			○										
	オストメイト対応型多目的トイレ	●										○	●			○										
	更衣室・シャワー室	●										○	●			○										
	選手待機席	●										○														
	競技運営室兼審判控室	●										○														
共用諸室部門	トレーニング室												●				○	○								
	多目的室												●			○			●	○				○		
	会議室																									
	正面玄関・エントランスホール	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	キッズスペース	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	オストメイト対応型多目的トイレ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	更衣室・シャワー室	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	授乳室	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	エレベーター・階段	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	前庭広場																									
	駐車場・駐輪場	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	管理部門	事務室・放送室	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		機械室・器具庫・物品庫	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大型防災備蓄庫																										
非常用発電設備庫・非常用燃料貯蔵庫																										

		スポーツ以外の視点																																					
社交ダンス	eスポーツ	障害者スポーツ	車椅子バスケットボール	車椅子テニス	障害者サッカー	CPサッカー(7人制)			ゴールボール	シッティングバレーボール	ポッチャ	一般開放・各種スポーツ教室	各種競技大会・記録会	各種試合・ミーティング	各種スポーツイベント	各種スポーツ講演会・式典	防災拠点機能(災害時対応)	避難所機能	避難者居住スペース	避難者生活環境の確保	食糧品・飲料類の保管機能確保	生活用水貯水機能	生活用品・衣類保管機能	共用電源供給機能	冷暖房空調管理機能	体調・健康管理機能	被災者支援機能	自衛隊派遣ベース	支援助資荷捌ベース	被災者相談窓口	臨時診療所	復旧技術者派遣ベース	ボランティア活動ベース	防災行政運営機能					
						CPサッカー(5人制)	CPサッカー(5人制)	CPサッカー(5人制)																															
						○	○	○																															
		●	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												○		
○	○	●	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												○	
		●	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													○
		●	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													○
		●	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													○
		●	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○
																																							○

# 第5章 事業手法の概要と比較

## 5-1. 事業手法の概要

公共工事の建設に係る事業手法としては、施設の設計・建設から維持管理・運営までに至る一連の業務において、行政が設計から建設までを民間事業者が発注する「分離発注方式」と言われる「従来型」のほか、民間事業者の資金力・経営力・技術力といった活力を取り入れる「PFI方式」をはじめ、「ECI方式」や「DB方式」など、いわゆる「民活型」を導入する例が、大都市圏の地方自治体を中心に見受けられます。

以下、従来型と民活型におけるそれぞれの事業手法の種別や概要、事業構成、業務範囲に関する整理については、次の表のとおりです。

表 5-1 各事業手法の概要図

事業手法の種別	事業構成	業務範囲				
		基本設計	実施設計	監理・施工	維持管理	
従来型	<b>①分離発注方式</b> 設計委託契約と施工請負契約について、別々の民間事業者を選定し発注するなど、それぞれ個別に業務を実施する方法。		基本・実施	監理	施工	
	<b>②PFI方式</b> ※1 設計委託契約・施工請負契約・維持管理委託契約を同時に担う民間事業者（特別目的会社）を選定し発注するなど、全ての業務を包括的に実施する手法。（民間事業者（特別目的会社）が自ら資金調達を行い、施工後において所有権を行政に移転し維持管理業務を担う例が多い。）		事業マネジメント・資金調達			
	<b>③ECI方式</b> ※2 設計委託契約（実施設計）において、発注者と施工者の間で技術協力委託契約を締結し施工数量等を確定した上で施工請負契約を締結する手法。		基本・実施	監理	維持管理	
	<b>④DB方式</b> ※3 整備資金等を行政が調達した上で、設計委託契約と施工請負契約の同時に担う民間事業者を選定し発注することで、一部の業務を包括的に実施する手法。		基本・実施	監理	維持管理	

※1：PFI（Private Finance Initiative）：プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略。民間の資金・経営能力及び技術的能力を活用して、民間事業者が公共施設の整備とサービス提供をゆだねる手法。PFI法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）に基づき事業が実施される。  
 ※2：ECI（Early Contractor Involvement）：アーリー・コンストラクト・インボルブメントの略。設計段階から施工者が関与する手法。  
 ※3：DB（Design Build）：デザイン・ビルドの略。設計・施工一括発注手法。

## 5-2. 事業手法の比較

民活型におけるそれぞれの事業方式においては、従来型の設計から施工までの的が絞られた事業方式とは異なり、施設の設計・建設から維持管理・運営までに至る一連の業務を一括して実施する性質から、民間事業者の資金力・経営力・技術力の活用を前提とした性能発注による手続きが必要となり、これらを担う民間事業者の募集や選定の手続きには、それ相応の準備期間が必要となります。

更に、民活型では、発注者である行政と民間事業者との契約に基づく事業実施となることから、その後の要求や条件変更が難しいことに加えて、事業の履行段階における業務的な品質の管理や発注者側の意向を適切に反映させるための高い管理能力が行政に求められることとなります。

これらの点を踏まえ、事業手法の在り方に関しては、総合的な見地の下で行政が検討すべき事項として整理するとともに、今後となる基本計画策定の段階において、適切な事業手法を選択するものします。

以下、従来型と民活型におけるそれぞれの事業手法の特徴に関する整理については、次の表のとおりです。

表 5-2 事業手法の比較

事業手法の種別		特 徴
従来型	①分離発注方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計者、施工者の選定に透明性、客観性が確保しやすい。</li> <li>・設計、施工の段階で発注者の意向を反映しやすく、相互のチェック機能も働く。</li> <li>・設計段階で市民の声を反映しやすい。</li> <li>・民間事業者の選定に多くの時間を必要としない。</li> <li>・設計、施工の段階で発注者がマネジメントを行うため、経験値や技術力が必要になる。</li> </ul>
民活型	②PFI方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親会社から必要な資産だけ切り離し設立される特別目的会社（SPC）を選定することで、民間のノウハウが発揮され、建設と維持管理のコスト縮減が期待される。</li> <li>・発注者が締結する契約が1本化され、責任の所在が明確になる。</li> <li>・年間の財政負担額の平準化が図れる。</li> <li>・公共施設であることから、民間のノウハウが発揮できる収益部分が少ない。</li> <li>・発注段階で設計や施工に関する要求や条件を明確する必要がある。</li> <li>・PFI法に基づく諸手続きが必要であり、民間事業者の募集期間として1年以上を必要とする。</li> </ul>
	③ECI方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階からの施行者の参画によって、技術的な精査が設計（実施設計）に反映され、施工段階における設計変更のリスク低減が期待できる。</li> <li>・設計（実施設計）から施工まで、一連の業務が円滑に進捗することが期待できる。</li> <li>・発注者が設計者・施工者双方の責任範囲を明確にしながら、内容調整・判断を行う必要がある。</li> <li>・ECI方式による適用事例が少なく、有識者の助言等を得ながら進める必要がある。</li> </ul>
	④DB方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の段階から施工者が参画することによって、技術的な精査や品質管理等が設計（基本設計・実施設計）に反映されることで、建設コストや維持管理コストの縮減や工期短縮が図れる可能性がある。</li> <li>・発注段階設計や施工に関する要求や条件を明確する必要があるため、発注後の要求や条件の変更が困難である。</li> <li>・民間事業者の募集や選定の手続きに、それ相応の準備期間が必要となる。</li> </ul>

## 第6章 今後の事業スケジュールと策定作業に関するイメージ

### 6-1. 今後の事業スケジュール

基本構想の策定後における今後の事業スケジュールについて、段階的な作業項目を整理の上、次のとおり想定します。

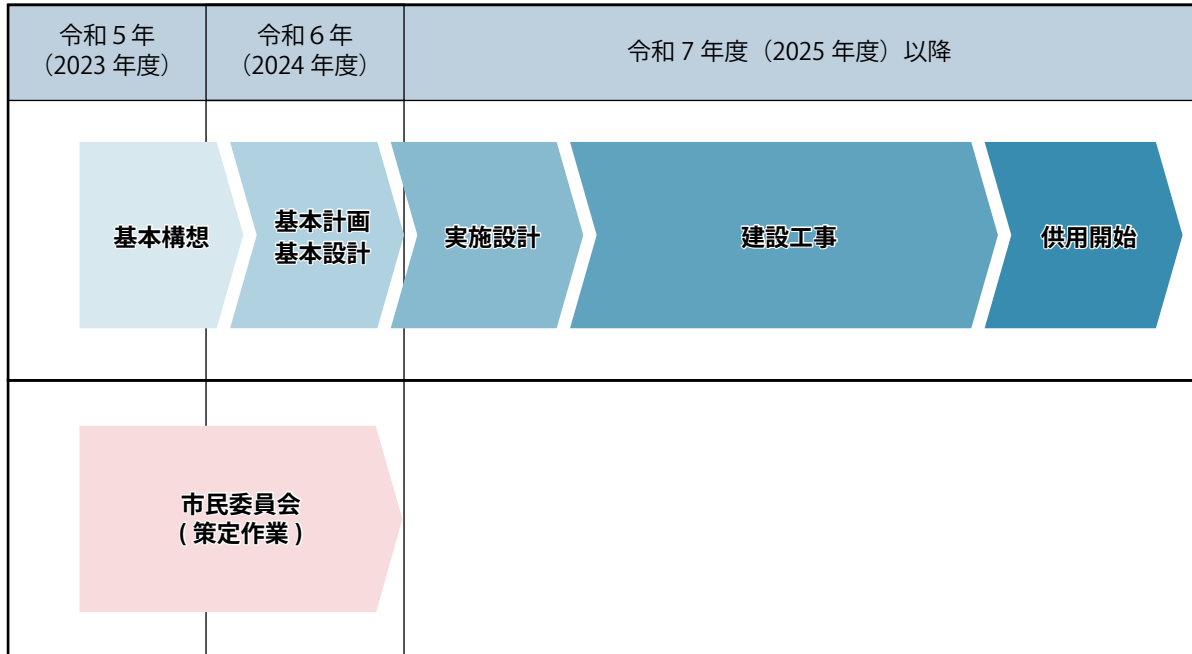


図 6-1 今後の事業スケジュール

#### 【市民委員会による策定作業の流れ】

基本構想での新総合体育会館の建設に向けた「骨格づくり」に続き、基本計画では、その基本構想でまとめた「骨格」に「肉付け」を行い、更に続く基本設計では、これらを踏まえた「設計図の基本」を作成するなど、それぞれの策定作業を行います。

#### 【行政による事業実施と進捗管理の流れ】

基本構想に続き、市民委員会の意向を踏まえた基本計画や基本設計に基づくものとして、技術的な検証や専門的な知見を加えた実施設計を行うなど、その後となる建設工事等を含め、新総合体育会館の建設に向けた事業実施と進捗管理を行います。

## 6-2. 今後の策定作業に関するイメージ

これまでスタートアッププランとして検討を進めてきた「基本構想」をはじめ、これからとなる「基本計画」や「基本設計」など、今後の策定作業に関するイメージについて、次のとおり整理します。

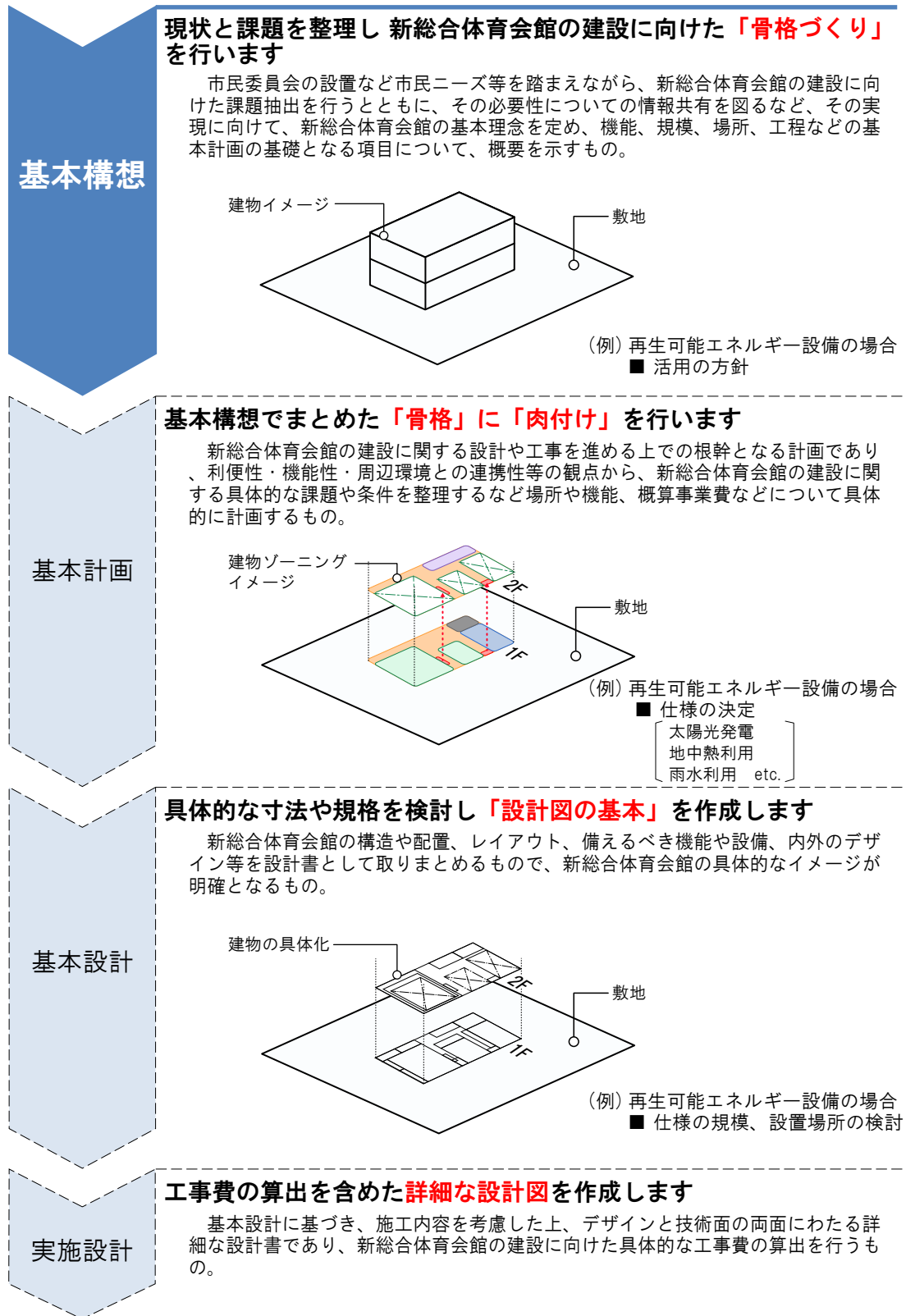


図 6-2 今後の策定作業に関するイメージ